

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）総括表

【達成状況（自己評価）の目安】◎：年度目標以上のものが達成できた　○：年度目標が概ね達成できた
△：年度目標の一部が達成できた　×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

基本方針	重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容（重点取組項目以外の取組みも含む）	
	項目数	達成状況			
1 身近なコミュニティづくりの推進	34	◎	32	51	地域の困りごとを地域住民の手でお手伝いする支え合い活動を7地区部会エリアで実施しているほか、15の地区部会エリアで見守り活動を実施し、その内容も安心カードの配布と声かけから民生委員による訪問、防犯パトロールの際の見守りなど、地区の実情に応じた様々な方法をとっている。 また、地域住民と近隣の大学、行政が地域課題について話し合う活動を持つほか、地域食堂や居場所づくりとしてのこどもカフェ運営など、様々な形でのコミュニティづくりを推進している。
		○	2		
		△	0		
		×	0		
2 交流の場と仲間づくり	33	◎	31	69	高齢者のいきいきサロンは17の地区部会エリアで実施しており、シニアリーダー体操やあんしんケアセンター、健康課による講話などを活用して交流と健康づくりの活動を行ったほか、地域での散歩クラブや体操の会なども行われた。 また、子育て世代の交流の場としての子育てサロンも16の地区部会エリアで開催され、その他にも地域のお祭りや盆踊り、スポーツイベントや、地域内の障がい者施設の行事に地域住民が参加し、交流の場づくりを進めた。
		○	1		
		△	1		
		×	0		
3 社会参加の推進	2	◎	1	32	地区部会や自治会の中から、高齢者が地域の各種行事にスタッフとして参加するほか、障がい者が避難所運営委員会に参加したり、地域のイベントにおいて障がい者施設で作成する物品の販売をするなど、さまざまなアプローチで社会参加を推進している。 また、地域高齢者の社会参加のために、高齢者向けスマートフォン教室を開催するなどの工夫も見られる。
		○	1		
		△	0		
		×	0		
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	4	◎	3	13	地域内で福祉に関する講座や研修会を企画開催し、福祉活動への理解を深め、新たな担い手育成に努めた。その講師としてあんしんケアセンターや健康課、警察、消費生活センターなど様々な分野から職員を招き、地域住民の関心を引くテーマで実施したほか、大学や専門学校と連携して学生も地域活動に参加するなど世代を超えた地域の福祉力向上に努めた。
		○	1		
		△	0		
		×	0		
5 相談体制、情報提供の場づくり	5	◎	4	29	地域住民からの個々の相談については町内自治会役員や民生委員が対応するケースが多いが、地域の活動拠点やいきいきサロンや子育てサロン内で相談コーナーを設置したりする工夫も見られる。 その他、すべての地区で広報紙を発行し、ホームページを運用して情報発信に努める地区や、地域防災マップを作成しそれを活用して情報提供を行ったり、緊急ノートを配布し活用する地区なども見られる。
		○	1		
		△	0		
		×	0		
6 福祉教育の推進	1	◎	1	16	地区部会が主催するボランティア講座のほか、小中学校での福祉体験講座や児童生徒が地域行事にボランティアとして関わったり、専門学校や大学と協働でのイベントを開催したり、わくわくキャンパスや老人クラブと子どもたちとの交流機会づくりなどを通じて、将来を担う子どもたちの福祉教育を推進した。
		○	0		
		△	0		
		×	0		
7 人にやさしい生活環境づくり	9	◎	9	25	全ての地区で防犯パトロールやセーフティウォッチャーを実施し、警察による最近の犯罪動向の講座を受講するなど、地域の防犯・安全づくりに取り組んだ。 また、地区内でこども110番のいえの拡充に取り組んだり、不審者からの逃げ方講座などを開催する地区もあった。 防災面では避難所運営委員会を中心とした避難訓練や防災訓練を実施したほか、災害時避難マップの配布や、「子どもの目から見た安全マップ」を作成・配布するなどの活動も見られた。
		○	0		
		△	0		
		×	0		
今年度の振り返り	88	◎	81	235	コロナ禍で縮小を余儀なくされていた地域での行事や活動が回復してきた状況。 休止した活動の再始動に際して一度離れた活動の担い手や、コロナ禍で要介護度が上がったしまった高齢者も多く見られる中、様々な取り組みにより再び地域での活動を進め、活動に参加する人々も回復してきた年度であった。
		○	6		
		△	1		
		×	0		

今後の課題と方針	コロナ禍により落ち込んだ地域活動の再開が目立つものの、この数年で加齢により、あるいは要介護度が上がって参加しづらくなった高齢者が増えたことや、担い手(ボランティア)や後継者の不足は深刻である。 今後の地域福祉活動推進のため、新たな担い手の発掘や育成、そして地域の状況に合わせた活動が重要になると思われる。
----------	---

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	7月 5日（金）	・コロナ収束後の地域活動において新規・拡充した取組みについて ・生活支援コーディネーターによる、地域の交流の場・通いの場に対する支援について ・コミュニティソーシャルワーカーによる、地域の困りごとに対する支援について
第2回	3月18日（火）	・令和6年度の地域活動の取組状況について ・福祉まるごとサポートセンターの相談事例及び拡充事業について ・推進協だより第28号（案）について ・令和7年度のスケジュール（案）について

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第28号	3月18日（火）	発行部数：6, 670部 主な配布先：町内自治会、図書館、公民館、コミュニティセンター（市民センター）、生涯学習センター、男女共同参画センター、市民活動支援センター、いきいきプラザ（センター）

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

◆東千葉地区部会エリアにおける地域支え合い活動◆

東千葉地区部会エリアは、旧来からの住民とマンション建設などにより新たに転入してきた住民が共存し、高齢化率は約39%となります。

当該エリアでは、2002年には地域の助け合いグループ「ハッピータウンの会」が発足されるとともに、同年には「社会福祉協議会 東千葉地区部会」が設立され、「ちょっとボランティア」や「見守りネット東千葉」といった活動を開始しました。

2020年には、地区部会が実施している「ちょっとボランティア」と「見守りネット東千葉」そして「ハッピータウンの会」の活動を統合し、「ハッピーボランティア東千葉」として活動を再スタートし、地域のニーズを地域住民であるコーディネーターがつなぎ、有償による助け合いサービスを展開しています。

そして、町内自治会や地域のボランティア団体とともに参加している「地域づくり懇談会」を通じて、住民意識や地域特性、地域課題を把握しつつ「住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らし続けたい」という共通の願いのもと、防災訓練や地域イベントをはじめとした活動を行っています。

東千葉地区部会では、住民同士のつながりを深め、いざという時に「助けて」と言い合える（相談できる）地域住民の”絆”づくりを目指して活動しています。



地域住民による懇談会の様子

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 都地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針		
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)					
都地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・年4回開催される都地区連協主催の会議を通して、地区連協・スポーツ振興会・社協の3つの団体の行事日程の調整や協力要請等、都地区として連携して活動している。 ・地区部会の中心である民生委員が、各町内自治会とのパイプ役を果たした。					
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・都町リハイム自治会で買物支援対策として、“移動スーパー”を(毎週火曜日10:30～11:00)実施した。					
【人口・世帯数】 9,222人、4,967世帯 【町内自治会数】 10町内自治会 【高齢化率】 25.5% 【地域の特徴】 ○都町、都町1～3丁目を対象としたエリア。 千葉市の政令指定都市移行に伴い、前組織の都加曽利地区部会が、中央区の都町と若葉区の加曽利町に行政区が分かれたことにより、分離分割し設立に至った。			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 継続して見守り活動を実施するとともに、見守りにおける体制の強化を図り、災害発生時においても円滑な避難等ができるよう努めたい。	・都町リハイム自治会で、見守りを希望する高齢者の見守り活動を実施した。	○	【重点取組項目】 今年度同様 リハイムでの見守りは6年度で活動を終了。 地域内見守り体制について引き続き検討や研究を進める。			
活動事業名			実績に○印	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定:前年度同様の取組みを継続する。			・各町内自治会の中で、自主防災組織を組織している地域では、年に一度防災訓練を実施した。 ・町内自治会によって相違はあるが、9月、12月に“防火パトロール”を各一週間程度実施した。 ・都地区では「都小学校避難所運営委員会」が設立されており、各町内自治会の防災会関係者が結集し、年に一度、避難訓練を実施した。内容としては、DVDによる防災意識の啓発活動や防災資機材の定期点検等を行った。		
いきいきサロン			○	5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、子育てサロン「いちごミルク」を月1回実施した。 ・地区部会が、10月に「芋ほり大会」を実施した。 ・都小学校主催の「いちようまつり」を開催され、民生委員のPR活動を実施した。 ・地区部会主催で開催していた「みやこお楽しみ会」を3月に実施した。 ・育成委員会が主体となり、「セーフティウォッチャー」の活動や「こども110番のいえ」の協力等子どもたちの安全を守る環境は整っている。				
子育てサロン			○							
散歩クラブ			○							
広報紙			○							
ボランティア講座			○							
ふれあい食事サービス			○							
敬老会	○	2 交流の場と仲間づくり	○	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施などを通して、地域高齢者の閉じこもりの防止や仲間づくり・社会参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。	・地区部会が、いきいきサロン(体操教室、手芸教室)を実施した。 ・地区部会が、70歳以上の独居高齢者を対象とした年末慰問を実施した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様		
見守り活動	○			7 地域での健康づくり支援の充実	予定:前年度同様の取組みを継続するが、カラオケは休止し、お茶会と体操に企画を変えている。	・各老人会での活動の違いはあるが、「グラウンドゴルフ」、「カラオケ」、「お茶会」を実施した。 ・町内自治会有志によるラジオ体操は、継続して実施している。				
支え合い活動	—			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.5と同様)				
【個票(共通)】 ※1 人口等の数値は、令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口を使用しています。 ※2 複数の地区部会にまたがる町丁については、町丁を担当する民生委員の人数により按分した概算の数値です。	○			9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 子育てサロンの実施を通して、地域の子育て中の親子の孤立化を防止し、仲間づくりの場を設けるよう努めたい。	・地区部会が、子育てサロン「いちごミルク」を月1回実施した。 ※コロナにより参加者が減ったが、チラシを貼ったりし、参加者増につながっている。	◎	【重点取組項目】 今年度同様		
				10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続するが、グラウンドゴルフは現在休止中。	・スポーツ振興会主催の行事(運動会、グラウンドゴルフ)を実施した。				
				11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。 盆踊りは1町会から3町会に拡大。	・都地区の10町内自治会のうち、2町内自治会で盆踊り大会を開催した。 盆踊り大会には他の町内自治会の方が参加するなど、交流の幅が広がっている。 ・育成委員会主催の風揚げ大会を実施し、地域の高齢者と子どもの交流を図った。				
				3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域の高齢者が、都小の学校行事に協力するとともに、セーフティウォッチャーや子ども110番の家、地域の防犯パトロールに協力した。			
		○	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進		【重点取組項目】 施設の運営会議参加や施設訪問等を通して、障がいのある方が地域で福祉活動ができる機会を創出し、社会参加ができるよう努めたい。	・地区部会で施設訪問を予定していたが、感染症の影響などにより延期となり、引き続き訪問について調整を図っている。 ・地区部会長が、施設の運営会議に参加し、地域における受け入れ体制を整えるよう調整を図った。	○	【重点取組項目】 今年度同様		

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 都地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
都地区部会エリア	4 地域の福祉力 向上、担い手づく り		14 地域福祉活動に参加する機 会の提供や地域福祉に関す る講座の開催	予定:テイクアウト方式のふれあい食事サービス は開催回数を6回に戻した。 健康セミナーはあんしんケアセンターとの協働で 計測を実施する。	・「ふれあい食事サービス」は、「テイクアウト方式」で年6回実施した。 ・健康セミナーを、都町リハイム町内自治会で実施した。			
	5 相談体制、情 報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員が中心となり、個別に対応している。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央 区ふくし・防災ガイド&マッ プ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。 (令和6年度は7月発行予定)	・「都地区部会だより」を年1回発行し、地域の情報を掲載した。			
	6 福祉教育の推 進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 盆踊りは1町会から3町会に拡大。	・都小4・5年生を対象に、「わくわくキャンパス」で有志の地域住民が協力し、米づくり等の 体験指導を実施した。			
	7 人にやさしい 生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・都地区の10町内自治会が、6つの「防犯パトロール隊」を編成し、徒歩によるパトロール を実施した。 ・「こども110番のいえ」のポスターを掲示することで、こどもたちの安心・安全を見守ってい る。 ・「移動交番」をみやこ図書館で月2～3回開設している。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 末広地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
末広地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員主体の活動でも、問題が発生した場合、町内自治会と連携して解決する体制が整っている。 ・あんしんケアセンター千葉寺と一緒に開催している「地域ケア会議」を開催した。 ・あんしんケアセンター千葉寺主催で、各町内自治会が参加し、地域課題等について情報共有の場となっている「地域住民、福祉・介護専門職交流会」は、フレイル予防の健康体操として実施した。 ・青少年育成委員会、末広中学校、寒川小学校、PTA、民生委員・児童委員等による会議に参加した。			
【人口・世帯数】 12,736人、7,536世帯			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員が主体となって活動している(外出補助・話し相手等)。			
【町内自治会数】 4町内自治会			3 見守り体制をつくる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会ごとに、市から「避難行動要支援者名簿」の提供を受け活動している。 ・見守り活動については、3町内自治会が実施している。1町内自治会では、町内自治会と民生委員が連携し活動している。 また、民生委員が日常の活動の中目配り見守りを行っている。			
【高齢化率】 20.6%		○	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 地域住民参加型の避難所開設訓練の実施を通して、特に支援を必要とする地域住民が災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。	・避難所の運営に携わっている避難所運営委員会のスタッフおよび住民も参加で、10月に倉庫や備蓄品の確認などの訓練を実施した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
【地域の特徴】 ○長洲の一部、末広、千葉寺町の一部、青葉町の一部を対象としたエリア。 地区内に末広街道・大網街道の幹線道路や地区を斜めに横切る京成電鉄の千葉寺駅や青葉の森公園がある。 また、隣接地区の製鉄所跡地に大規模ショッピングセンターができ、交通量の増加など環境が徐々に変わりつつある。 千葉寺駅や青葉の森公園に関わる道路網の整備のため、最近は、末広街道・大網街道とも交通量が増加している。			5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域住民が寒川小学校児童の登下校時に、セーフティウォッチャー活動をしている。 ・子育てサロンを1会場、月1回実施している。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。			
活動事業名	実績に○印	2 交流の場と仲間づくり	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会主催のいきいきサロンを2会場で月1回程度再開した。 ・老人クラブの活動も再開し、活発化してきている。			
いきいきサロン	○		7 地域での健康づくり支援の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会主催で、グラウンドゴルフ大会を10月と3月に実施し、地区全体の交流を深めた。 ・4町内自治会ごとに老人クラブがあり、グラウンドゴルフを開催するなどの活動を実施した。 ・末広公民館で、週1回、シニアリーダー体操を再開した。 ・千葉寺自治会館でも月1回シニアリーダー体操を実施している。			
子育てサロン	○		8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会主催で、グラウンドゴルフ大会を10月(3月にも予定)に実施し、地区全体の交流を深めた。 ・4町内自治会ごとに老人クラブがあり、グラウンドゴルフを開催するなどの活動を実施した。			
散歩クラブ	－		9 子育てサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・子育てサロンを1会場、月1回実施している。			
広報紙	○		10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の障害者福祉委員会とボランティア委員会が、オリーブ亥鼻福祉作業所で毎週水曜日と毎月第3火曜日、ミシンかけやハンガー作り等の作業支援を実施している。 また、心身障害者福祉作業所「青い空」でも月2回、軽作業支援を実施している。			
ボランティア講座	－		11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区内の保育園が、地域のお祭り等へ参加し、地域住民と世代間交流を図っている。 ※現在休止中			
ふれあい食事サービス	－		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会や町内自治会等の役員は高齢者が中心であり、各団体の行事等ではスタッフとして各種活動をしている。			
敬老会	○		13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.10と同様)			
見守り活動	○		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会主催のにこにこ体操の中で、あんしんケアセンターを講師に招き、健康に関する講話を実施した。			
支え合い活動	○							

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 末広地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
末広地区部会エリア	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員と町内自治会役員が連携して対応している。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド＆マップ」の活用	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・広報紙を年1回発行している（R6年度は3月発行）			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が寒川小学校4年生を対象に、消防団の小屋の見学と放水体験を年1回実施している。 ・学校からの依頼を受け、地域の歴史を学ぶため、寒川小学校3年生が千葉寺、稲荷神社を見学する際、協力している。 ・地区部会主催のにこにこ体操の中で、健康に関する講話を実施した。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・自治会が行う防犯パトロールを13エリア月2回ずつ実施した。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。			
			19 防災体制の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	（No.4と同様）			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 寒川地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
寒川地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の役員会で、町内自治会会長、民生委員と情報共有を実施した。			
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:ボランティア活動研修会を実施する。	・地区部会が主体となり、3月にサロン関係、ボランティア募集をテーマに研修会を実施した。年々、ボランティアが減少しており、ボランティア確保に向け力を入れていきたい。			
			3 見守り体制をつくる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が名簿や資料を作成し、6町内自治会で災害時要支援者のうち、見守り希望者に対し、各町内自治会が実施しやすい手法で目配りや声かけなどの見守り活動を実施した。			
【人口・世帯数】 5,808人、3,485世帯 【町内自治会数】 6町内自治会 【高齢化率】 20.6% 【地域の特徴】 ○港町、寒川町、稲荷町を対象としたエリア。 JR本千葉駅と蘇我駅の中間に位置している。かつては寒川神社を中心に、川崎製鉄の裏門に沿って栄えた地域で、昔からの住民が多く、かつ一戸建てが多く存在しているためか、住民の転居なども少なく、高齢化が比較的に進行しやすい環境の地域である。		○	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 災害発生時に備え、「災害時要支援者名簿」を更新するとともに、災害時要支援者の避難訓練等の実施などを通して、災害発生時に円滑な避難ができるような体制づくりに努めたい。	・地区部会で、「災害時要支援者名簿」を更新した。 ・各町内自治会より15名程度の参加で(総人数100名)、災害時要支援者の避難訓練を実施した。同時に、避難所運営委員会の運営マニュアル確認の訓練及び打合せを行った。 ・避難支援体制の充実のための再確認を行った。 ※地区部会主導で寒川地区6町内自治会合同で、実施マニュアル確認の訓練及び打合せを行った。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	活動の担い手不足が喫緊の課題である。
			5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・寒川小学校の要請により、PTA・町内自治会有志・民生委員がセーフティウォッチャーとして、児童の登下校の見守り活動を実施している。 ・地区部会が寒川保育所で子育てサロン毎月1回実施した。 ・地区部会が、寒川小学校の課外授業への参加協力を行った。 ・寒川小学校の要請により、「わくわくキャンパス」に地域企業・地域住民が協力した。 ・寒川小学校の要請により、「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。 ※令和5年度から子供会が減り、6年度では全ての町内自治会で子供会が無くなった。			
活動事業名								
いきいきサロン								
子育てサロン								
散歩クラブ								
広報紙								
ボランティア講座	2 交流の場と仲間づくり		6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定:いきいきサロンを6会場に拡大する。	・地区部会主体で、いきいきサロンを6会場で実施した。			
ふれあい食事サービス			7 地域での健康づくり支援の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会が主体となり、各町内自治会でグラウンドゴルフ大会を実施した。また、ボッチャ大会についても、簡易なルールで実施した。			
敬老会			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・寒川小学校1年生の課外授業で、「昔遊び」を地区部会の委員及び地区の有志により実施した。 ・小学校4年生の車椅子体験については、地区部会障がい者委員会が中心となり実施した。 ・社会体育指導員が、地域の野球・サッカー・バレーボール等を実施した。 ・寒川小学校が企業等の協力を得て出前授業を行った。 ・ふれ愛社協まつりでグラウンドゴルフ・ボッチャ大会を行った。			
見守り活動								
支え合い活動								
			9 子育てサロンの充実	予定:子育てサロンを毎月1回実施する。	・地区部会主体で、子育てサロンを月1回実施した。			
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:地域で生活する障がい者について、各町内自治会役員(地区部会役員も含む)や民生委員が地域で見守りを実施する。	・各町内自治会役員(地区部会役員も含む)や民生委員が主体となり、地域で暮らす障がい者の見守りを実施した。 ・「ふれ愛社協まつり」に軽度の身体障がいのある方が参加した。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:子育てサロン開催時に各町内自治会から高齢者が参加し交流を図るほか、「ふれ愛社協祭り」やお祭り(祭事)などのイベントを通して世代間交流を図る。	・子育てサロン開催時に、各町内自治会より高齢者が参加し、交流を図ることができた。 ・「ふれ愛社協まつり」で、模擬店やグラウンドゴルフ・ボッチャ大会を開催し、世代間交流を行った。 ・各町内自治会で実施しているお祭り(祭事)は子どもの減少により、子ども神輿等ができない状況である。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が実施している「いきいきサロン」「ふれ愛社協まつり」等の各種事業に、高齢者がボランティアとして参加した。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:地域で生活する障がい者について、各町内自治会役員(地区部会役員も含む)や民生委員が地域で見守りを実施する。	(No.10と同様)			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 寒川地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
寒川地区部会エリア	4 地域の福祉力 向上、担い手づく り		14 地域福祉活動に参加する機 会の提供や地域福祉に関す る講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会ごとに、「いきいきサロン」単位で、市の出前講座などを実施した(全6町内自 治会、計6回)。 ・地区部会として、災害時要支援者避難訓練(1回)を実施した。 ・地区部会では、寒川小学校4年生を対象に、車椅子体験講座を年1回実施し、100人の 児童が参加した。			
	5 相談体制、情 報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が主体となり、主に町内自治会の役員・組長や部会役員がその役割を担ってい る。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央 区ふくし・防災ガイド&マッ プ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会で、年2回社協だよりを発行した。 ・各町内自治会が定例会の内容を回覧板で知らせている。地区部会のチラシ等も町内自 治会で回覧を依頼している。 ・防災マップを2年～3年に一度、町内自治会が作成している。			
	6 福祉教育の推 進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 地区部会の各サロン(6会場・町内自治会単位)で 健康講座を実施する。	・地区部会では、寒川小学校4年生を対象に、車椅子体験講座を年1回実施し、100人の 児童が参加した。 ・敬老会に末広中学校・寒川小学校の生徒児童75名が参加し、合唱や演奏する機会を設 け、活動を通じて福祉の心を育んでいる。寒川小学校の要請により、「わくわくキャンパス」 に地域住民が協力した。 ・寒川小学校1年生の課外授業では、地区部会が中心となり、昔遊びを教える活動を通じ て交流を図った。(児童90人が参加) ・地区部会が健康講座を年1回、サロン会場で開催するとともに、サロンごとに市の出前講 座などを実施した。			
	7 人にやさしい生 活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 ※防犯パトロール:回数や人数を増やして実施。	・全6町内自治会ごとに、警察の協力を得て防犯パトロールを実施し、防犯意識を高めてい る。 ・寒川小学校の要請により、「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。			
			19 防災体制の充実	予定:今年度も災害発生時に備え、地区部会が 「災害時要支援者の避難訓練」と防災訓練を実施 する。また、避難所運営委員会も災害訓練を実施 する。	・地区部会が災害時要支援者の避難訓練を実施するとともに、避難所運営委員会と合同 で6町内自治会一斉の防災訓練を実施した。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 ちば中央地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
ちば中央地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定： ・「歌と踊りの集い」の開催に併せて、各町内自治会、民生委員・児童委員、福祉活動推進員等の交流を実施する。	・地区部会が主催、町内自治会連絡協議会の協賛の下、「歌と踊りの集い」を開催し、各町内自治会、民生委員・児童委員、福祉活動推進員等の交流を実施した。			
【人口・世帯数】 17,214人、9,853世帯			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定： ・前年度同様の取組みを継続する。 ※地域交流会の回数は未定。	・「オリーブ玄鼻福祉作業所」が年1回実施している地域交流会に参加した。 ・地域住民の個別相談は民生委員を中心に、地区部会役員や町内自治会で対応している。			
【町内自治会数】 28町内自治会		○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 日頃のお付き合いの中での見守り活動を通して、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。	・民生委員・福祉活動推進員及び町内自治会の協力をいただきながら、個別対応ではあるが見守り活動を継続して実施している。 ・民生委員・児童委員が中心となり、緊急通報システムの広報啓発活動を行っている。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	地域における見守り活動の拡充・展開にあたって、対象となり得る方々へ声かけ等を行っても拒否されることが多々あり、地域展開が課題である。
【高齢化率】 22.2%			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 防災訓練の実施などを通して、特に支援を必要とする地域住民が、災害発生時においても円滑な避難等ができるよう努めたい。	・3か所の避難所運営委員会で、毎月会議を開催し、年1回開催している防災訓練において、地域住民の参加を呼びかけて、防災意識の向上を図っている。 ・一部の町内自治会では、地域住民への広報を行い、防災訓練や防災倉庫の点検作業を実施し、有事に対応できるようにしている、	○	【重点取組項目】 今年度同様	地域全体としての訓練実施の必要性はあるものの、そのとりまとめや担い手不足の顕在化が課題である。
【地域の特徴】 ○中央、市場町、長洲の一部、本町、東本町、道場南、鶴沢町、旭町、亀井町、亀岡町、玄鼻、葛城、青葉町の一部を対象としたエリア。 千葉市の歴史、文化、経済の中核的な役割を果たしてきた地域で、繁華街と商店街が多く、また、郷土博物館・青葉の森などの文化・芸術施設も多い。			5 すべての子どもを地域で育てる	予定： ・前年度同様の取組みを継続する。	・青少年育成委員会を中心に、小・中学校PTA、子ども会、町内自治会、老人会、地域の事業者等に協力をお願いし「こども110番のいえ」に取り組んでいる。 ・登下校時はセーフティウォッチャーとして児童生徒への見守り・声掛けを継続して実施している。 ・主任児童委員が中心となり、亀井町会館を会場に、小学校の子どもたちの居場所づくりとして「子どもカフェ」をスタートし、月1回程度(学校で市教研のある日に合わせて)実施している。			
活動事業名	実績に○印	2 交流の場と仲間づくり	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施などを通して、高齢者が身近なところで、交流する場所と機会の充実を図り、閉じこもりの防止や仲間づくり、社会参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。いきいきサロンは、本町一丁目町内自治会でも実施する予定である。	・地区内の町内自治会では住民交流の場として町内自治会館を開放しているところもある。 ・東本町自治会が自治会館において、いきいきサロン「東本町茶話会」を月1回程度で実施している。 ・本町一丁目自治会が自治会館において、月2回程度いきいきサロンを実施してる。	◎	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施などを通して、高齢者が身近なところで、交流する場所と機会の充実を図り、閉じこもりの防止や仲間づくり、社会参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。	
いきいきサロン	○							
子育てサロン	○							
散歩クラブ	－							
広報紙	○							
ボランティア講座	－							
ふれあい食事サービス	－							
敬老会	○							
見守り活動	○							
支え合い活動	－		7 地域での健康づくり支援の充実	予定： ・前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会が地域のスポーツ推進委員と連携して、月1回程度、健康体操や脳トレを実施している。 ・地区部会が地域のスポーツ推進委員やあんしんケアセンターと協力して、「ポッチャを楽しむ会」を年1回実施し、スポーツを通じた健康づくり、住民の交流の場を提供している。 ・一部の町内自治会が健康づくり、交流の場づくりを目的にポッチャを実施している。そのことが契機となり、本町2丁目老人会の立ち上げに繋がり、地域の交流の場を創出した。 ・「歌と踊り」を通じて対象の高齢者への外出機会や、交流や仲間づくりの場を提供するだけでなく、出演高齢者やその応援者も含めた健康づくりに寄与している。			
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定： ・前年度同様の取組みを継続する。	・子ども会、青少年相談員、育成委員会で小学生対象に「夕涼み会」を実施した。 ・10月に子ども会、スポーツ推進委員、学校が中心となり、地区親子運動会を開催した。 ・12月に青少年相談員が中心となり、クリスマス会を開催した。 ・1月に葛城公民館で、子ども会・青少年相談員・青少年育成委員会による「こども書初め展」同表彰式を開催した。 ・地区部会が地域のスポーツ推進委員やあんしんケアセンターと協力して、「ポッチャを楽しむ会」を年1回実施し、スポーツを通じた健康づくり、住民の交流の場を提供している。			
			9 子育てサロンの充実	予定： ・前年度同様の取組みを継続する。	・子育てサロンは2会場を使用し、毎月1回各会場で開催している。幅広く開催情報が行き渡るようSNSで呼びかけを行っている。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 ちば中央地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
ちば中央地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。 ※地域交流会の回数は未定。	・民生委員・児童委員が中心となり、「オリーブ亥鼻福祉作業所」が年1回実施している地域交流会に参加している。 ・地区部会が開催している「ポッチャを楽しむ会」には、地域の障がい者にも参加を呼びかけている。 ・民生委員・児童委員が中心となり、「オリーブ亥鼻福祉作業所」と関連事業所で、「封筒の袋詰め」「畑仕事」などの作業協力を通年で実施し、障害への理解と交流を図っている。今年度においては、広報の強化により、地域住民も活動に参加しいる。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。 ・地区部会が開催している「ポッチャを楽しむ会」に、地域の子どもたちにも参加を呼びかける。	・地域住民の交流の場を提供している町内自治会では、気軽に立ち寄れるように囲碁・麻雀・カラオケ等を楽しめる場を設けていただいている。 ・8月に有志町内自治会合同の盆踊りを小学校で開催しており、地域外からの児童・生徒の参加も認め、世代間、地域間交流を図っている。 ・地区部会が実施しているいきいきサロンに、本町小学校の児童が参加し、高齢者との世代間交流を図った。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会や町内自治会の事業・行事の運営に、高齢者である役員が多く参加している。 ・地区部会のボランティア委員会が中心となり、年3回、使用済み切手の整理を行っており、地域のボランティアの活動の場を提供している。 ・一部のシニアクラブの高齢者が、地域活動の一環として、地域の花壇づくりや花壇の管理を行っている。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定: ・歌と踊りの集い(敬老会)において、「オリーブ亥鼻福祉作業所」の出店協力依頼を行う。 ・民生委員の高齢者実態調査にあわせて、独自に、聴力・視力などの低下状況について聞き取りを行い、極端に低下している場合は、行政が実施しているサービスを紹介する。	・例年、歌と踊りの集い(敬老会)において、「オリーブ亥鼻福祉作業所」の出店協力を行っているが、今年度は会場の都合がつかず、実施にはいたらなかった。 ・民生委員の高齢者実態調査にあわせて、独自に、聴力・視力などの低下状況について聞き取りを行い、極端に低下している場合は、行政が実施しているサービスを紹介している。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供(R6～:地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催)	予定: ・民生委員や町内自治会を中心に、認知症や振り込め詐欺の啓発を町内自治会で実施する。 ・歌と踊りの集い(敬老会)において、あんしんケアセンターなどが、振り込め詐欺や健康などについての講話を実施する。	・民生委員が認知症や振り込め詐欺の啓発を町内自治会で行っている。 ・歌と踊りの集い(敬老会)において、感染症予防の観点から、保健所を招き「手洗いの重要性」に関する講座を実施した。 ・子育てサロンにおいて、保健師を招き、「歯っぴー講座」を実施した。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり	○	15 相談体制・情報提供の充実	【重点取組項目】 個別相談への対応などを通して相談の機会を増やし、地域での孤立化の防止に努めたい。	・民生委員があんしんケアセンターと協力しながら、個別の相談に対応している。 ・「歌と踊りの集い」において、保健所の出前講座「感染症予防」を実施した。 常に身近なテーマを選定し、注意喚起や情報提供を行っている。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。	・社協だより「きづな」を年3回発行し、地域の各種情報を紹介した。			
	6 福祉教育の推進	○	17 地域での福祉教育の推進	【重点取組項目】 敬老会における小・中学生への参加協力を依頼することなどを通して、児童・生徒の福祉学習の機会の創出を図り、将来的なボランティア活動の担い手づくりに努めたい。	地区部会が主催するポッチャ大会において、小学校、中学校の児童・生徒が参加し、福祉の心を育む機会を設けるとともに、高齢者との交流を図っている。 ・地区部会が実施しているいきいきサロンに、本町小学校4年生を対象に、ボランティア学習の一環として児童がサロンの参加者と交流し、ボランティア精神の醸成を図っている。	◎	【重点取組項目】 地区部会が実施している行事やいきいきサロンに小・中学生が参加することを通して、児童・生徒の福祉学習の機会の創出を図り、将来的なボランティア活動の担い手づくりに努めたい。	
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。	・地域内の一部の町内自治会では、時間を定め複数人のチームで防犯パトロールに取り組んでいる。 ・青少年育成委員会でも、防犯パトロールを実施している。			
			19 防災体制の充実	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 中央東地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
中央東地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 地区部会で地域の認知症に対する理解を深めるため積極的に研修会を開催するとともに、認知症にかかる取組みを行っている施設の見学、調査等を実施したい。 R6年5月に認知症カフェ「お茶の間椿」を実施する。	・地域の個別ケースとして地域の独居高齢者の対応等について、民生委員児童委員や区高齢障害支援課、あんしんケアセンター及び介護施設が、本人も交えたうえで協議した。 ・地区部会が、現在毎月第3火曜日に実施されている認知症カフェ「お茶の間椿」の立ち上げを行ったグループのサポートを行った。 ・認知症に対する理解を深めるため研修に参加。 ・椿森中学校の認知症サポーター養成講座開催に協力、参加。	◎	【重点取組項目】 今年度の実績を踏まえ、地区部会が地域住民を対象に認知症に対する理解を深めるために研修会を実施したい。	
【人口・世帯数】 14,916人、9,853世帯			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定：前年度同様の取組みを継続するほか、地域のニーズ把握のためのアンケートを実施し、課題の把握と研究とともに支え合い活動について検討する。	・基本的には、個別ケースの支援について、町内自治会長や民生委員児童委員が、あんしんケアセンターの協力のもと行っている。 ・一部の地域では、町内自治会の有志がグループを結成し、ゴミ出し支援を行っている。			
【町内自治会数】 16町内自治会			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 従来の見守り活動を継続しながら、マンネリ化してきている現状を踏まえ、再度原点に戻り、見守り事業の再構築を図る。 具体的には、現在の地域住民のニーズを把握するためのアンケート調査等を実施したい。	・地区部会が見守り活動を実施した。年4回の各町内自治会での報告会を実施し、その結果をリーダー報告会で報告し、課題や問題点等について協議した。また、ひとり暮らし高齢者に緊急通報システムやあんしん電話を積極的に紹介するなど情報発信に努めた。 ・見守り活動について、初期の目的と意義を地域住民に再認識してもらうため、地区部会が見守り活動に関するアンケートを実施し、その結果見守り希望者、協力者ともに増加した。	◎	【重点取組項目】 地区部会がアンケートの回答結果を踏まえ、地域住民に周知を図るため、見守り活動についてのパンフレットを作成するなど、見守り活動の強化を図りたい。	
【高齢化率】 23.3%		○	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続し、アンケート調査を実施しての大規模災害時における地域のニーズと課題を把握する。	・避難所運営委員会が、避難所開設訓練を年1回開催した。 ・避難所運営委員会が、避難所運営会議を年4回開催した。 ・町内自治会が、10月に安否確認訓練を実施した。 ・地区部会が大規模災害時におけるニーズ把握のためのアンケートを、見守り活動に関するアンケートとあわせて実施し、実際にニーズの要望を得た。			
【地域の特徴】 ○祐光、椿森、道場北、院内、要町を対象としたエリア。 JR千葉駅、東千葉駅、千葉都市モノレール千葉公園駅など交通機関に恵まれ、古くからの一戸建て住宅の他、近年ではワンルームマンションなども増加している。また、地域内には千葉医療センター(旧：国立千葉病院)がある。			5 すべての子どもを地域で育てる	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・セーフティウォッチャーが学校の登下校時の見守り活動を実施しているほか、わくわくキャンパスでは地域の方々が指導者として活動している。 ・民生委員児童委員が、中学校区のパトロールを週1回実施している。 ・地区部会では、年6回の「ちびっこひろば」を奇数月に実施した。 ・地域住民の有志が、節分にあわせて椿森公園と椿森三丁目公園で「椿森鬼まつり」を実施し、多くの子どもたちが参加した。 ・青少年育成委員会が、年2回パトロールを実施した。 ・地区部会が、公民館開設50周年イベントで子どもを対象にカレーライスを無償で提供した。 ・青少年育成委員会が「子どもの広場」を7月に開催し、多くの子どもたちがピザづくりを楽しんだ。「子どもの広場」では民生委員児童委員が協力した。			
活動事業名			6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が「いきいきサロン」を3会場でそれぞれ年4回実施した。 ・地区部会が「ふれあい食事サービス」は3月にテイクアウト方式で開催した。 ・公民館が、高齢者の居場所づくりの一環としてお手玉づくり等のスペースを開放している。			
いきいきサロン			7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 現在行っている「いきいきサロン」や「ふれあい散歩」、「シニアのための健康教室」を継続するとともに、参加者の意見を取り入れるなど、内容の充実と参加者の増員を図っていききたい。また、地域で行っている他の活動の紹介等を積極的にPRしていききたい。	・地区部会が「いきいきサロン」や「シニアのための健康教室」を実施した。 「いきいきサロン」は3会場でそれぞれ年4回実施し、シニアのための健康教室は7月と11月の2回実施した。 ・一部の町内自治会や老人会では、早朝ラジオ体操やグラウンドゴルフ、ボッチャ、シニアリーダー体操を実施している。 ・市役所へのお出かけ会、防災勉強会などで外出と運動の機会を設けた。 ・地域内事業について、あんしんケアセンターでもPRを行った。	◎	【重点取組項目】 現在行っているいきいきサロンを継続するとともに、新しいメニューを取り入れるなど内容の充実化を図りたい。	
子育てサロン			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定：前年度同様の取組みを継続し、R6年11月の公民館開設50周年イベントにも地区部会として参加する。	・地区部会が主催する「社協まつり」では、地域サークルの演芸の発表を行ったり、子ども向けにハロウィンの文化に触れたりした。また、ボランティアとして椿森中学校や千葉聖心高等学校の生徒が開催に協力した。 ・地域住民が院内小「わくわくキャンパス」で指導を行っている。 ・スポーツ振興会が「連合体育祭」を開催した。 ・青少年育成委員会が「子どもの広場」を7月に開催し、多くの子どもたちがピザづくりを楽しんだ。「子どもの広場」では民生委員児童委員が協力した。 ・地域の子どもたちに節分の豆まきを通して日本の伝統文化を体験してもらうため、地域住民の有志が、節分にあわせて椿森公園と椿森三丁目公園で「椿森鬼まつり」を実施し、多くの子どもたちが参加した。 ・地区部会が、公民館開設50周年イベントで子どもを対象にカレーライスを無償で提供した。			
散歩クラブ								
広報紙								
ボランティア講座								
ふれあい食事サービス								
敬老会								
見守り活動								
支え合い活動								
	2 交流の場と仲間づくり	○						

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 中央東地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
中央東地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 参加者がより低年齢化したが、参加者がかなり増員となり、参加者同士の交流が活発となってきたことから、それらに適した内容の充実を図りたい。	・地区部会が「ちびっこひろば」を年6回、奇数月に開催した。参加者が低年齢化し参加者の人数も増え、保護者同士の交流がさかんとなり、大変充実した活動ができた。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会では障がい者施設「まあるい広場」に月1回程度訪問し、障がい者と一緒に草取りや庭の清掃などの活動を実施した。 ・地区部会が主催する「社協まつり」で、障がい者施設「まあるい広場」で作った物品のコーナーを設け、展示販売を実施した。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会が、誰でも参加できる餅つきや盆踊り、体育祭などの行事を実施した。 ・地区部会が「社協まつり」を開催し、世代を問わず多くの地域住民が参加した。 ・一部の町内自治会では、有志がフリーマーケットを実施し、世代を問わず多くの地域住民が足を運んだ。 ・認知症カフェ「お茶の間椿」には、若い世代の方も参加し、世代間の交流を図っている。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の事業に、高齢者もボランティアとして参加している。 ・一部の老人クラブでは、公園の清掃活動を行っている。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・障がい者施設「まあるい広場」の障がい者の作品や物品の販売に協力している。 ・民生委員児童委員が「まあるい広場」へ定期的に牛乳パックを届けている。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続し、あんしんケアセンターの協力により認知症に関する講座を開催する。	・地区部会の「いきいきサロン」で、あんしんケアセンター及び健康課の健康講座、消費生活センターの消費に関する講座などを実施している。 ・地区部会や地域住民の有志が、公民館でシニアリーダー体操や健康体操を実施している。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続するほか、地域への情報提供に地区部会広報紙なども活用する。	・地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員児童委員や町内自治会長が対応している。 ・地区部会では「ちびっこひろば」で相談コーナーを設け、乳幼児の健康についての相談を実施している。 ・地区部会が開催している「いきいきサロン」や「ふれあい食事会」で、スタッフが適宜相談に応じている。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の広報紙は、年4回発行し、地区部会の活動状況等を紹介している。 ・一部の町内自治会では地域の活動情報等を町会だよりとして発行している。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・院内小学校の「わくわくキャンパス」で、民生委員児童委員や地域住民が指導等を行っている。 ・地区部会が主催する「社協まつり」で、椿森中学校や千葉聖心高等学校の生徒がボランティアとして参加し、開催に協力した。また、会場には「防災コーナー」を設け、地域住民に防災に対する啓発活動を行うとともに、能登半島地震災害・大雨災害義援金の募集もあわせて実施した。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会で防犯パトロールを実施している。 ・移動交番が椿森公園に開設されている。 ・地域住民が「こども110番のいえ」や「セーフティウォッチャー」に協力している。 ・青少年育成委員会が、年2回パトロールを実施している。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・避難所運営委員会が、避難所開設訓練を年1回開催した。 ・避難所運営委員会が、避難所運営会議を年4回開催した。 ・町内自治会が、10月に安否確認訓練を実施した。 ・地区部会が大規模災害時におけるニーズ把握のためのアンケートを、見守り活動に関するアンケートとあわせて実施した。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 東千葉地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針	
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)				
東千葉地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地域の関係団体が参加する東千葉地区「地域づくり懇談会」において、地域課題について協議している中で課題の共有化が進み、次年度の地域全体の行事予定を策定することができた。 ・各町内自治会長、小中学校のPTA会長が地区部会役員となっており、年3回の理事会を通じて地域情報の共有を図っている。 ・「ハッピーボランティア東千葉」を継続して実施している。 ・地域住民、千葉大学、千葉市が連携し、地域課題について話し合い、解決に向けた取り組みを行っている「東千葉 和・輪・環の会」の活動を通じて、地域の関係団体の連携が深まっている。 ・地区部会が「東千葉 和・輪・環の会」や小学校との共同開催事業を実施した。				
【人口・世帯数】 3,992人、2,134世帯 【町内自治会数】 7町内自治会 【高齢化率】 38.7% 【地域の特徴】 ○東千葉を対象としたエリア。 旧軍用地のあとに建設された県営住宅、公務員住宅、マンション、その他の一般住宅などがあり、昔からの住人と新たに流入してきた新しい住人が共存している。									
活動事業名		実績に○印		2 支え合い活動の仕組みづくり	【重点取組項目】 「ハッピーボランティア東千葉」の周知と専門機関、地元の薬局・病院との連携をより強化することにより、支援を必要とする地域住民の生活課題の解決を図り、住み慣れた地域で生活ができるよう努めたい。	地区部会が高齢者等のちょっとした困りごとを支援する「ちよっとボランティア」と、地域の助け合いのグループである「東千葉ハッピータウンの会(ポイント制による会員同士の相互支援の会)」を統合した「ハッピーボランティア東千葉」が、支え合い活動に取り組んでいる。 また、対応できないケースについては、コーディネーターが専門機関等を紹介できるように他の支援サービスの一覧を作成している。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
いきいきサロン		○	○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 見守り活動を継続して実施するとともに、より身近な単位での茶話会を開くなど住民同士の顔合わせ機会を増やし、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。	・ハッピーボランティア東千葉では、高齢者等、支援が必要な方を対象に、日常的な目配りによる見守り活動に取り組むとともに、住民同士が知り合える機会の提供に努めた。 ・民生委員が、「安心カード」を75歳以上の高齢者に配布している。なお、一部の町内自治会では、希望者にも配布している。 ・住民同士が気軽に声をかけ合い、認知症の方が安心して暮らせる地域を目指し、「福祉展」を実施した。	◎	【重点取組項目】 見守り活動を継続して実施するとともに、より身近な単位での茶話会を開くなど住民同士の顔合わせ機会を増やし、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。 また、ハッピーボランティアの会をベースにした見守り体制づくりを検討していく。	
子育てサロン		○							
散歩クラブ		○							
広報紙		○							
ボランティア講座		○							
ふれあい食事サービス		—							
敬老会		○							
見守り活動	○								
支え合い活動	○								
			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 地域全体の行事を年間で作成し地域住民に知らせる活動を強めるとともに、防災訓練の実施等を通して、災害に備えて避難支援を強化し、災害発生時においても円滑な避難ができるよう努めたい。	・地区部会と4町内自治会が協力し、「合同防災訓練」等を実施した。 ・地区部会が集会所一時避難施設運営委員会に参加している。	◎	【重点取組項目】 今年度同様		
			5 すべての子どもを地域で育てる	予定：前年度同様の取組みを継続し、 ・子育てサロンの開催数を年2回から3回に増加。 ・千草台東小学校で1年生と6年生に加えて4年生のポッチャ体験も実施。 ・サマーイベントの開催を4日間から5日間に拡大。	・子育てサロンを年3回実施した。 ・町内自治会と地区部会が共同で「山部ふれ愛まつり」を実施し、多くの子どもたちが参加した。 ・地区部会が主催で千草台東小学校の授業の一環として、1年生「昔あそび」、6年生「戦争体験を聞く」を実施した。 ・「東千葉 和・輪・環の会」が「あいさつ運動」(毎日)を行っている。 ・「セーフティウォッチャー」や「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。 また、毎週月曜日午後3時から、「あいさつ防犯パトロール」を挨拶ロード記念イベントより継続しており、水曜日19時からは子どもも参加のパトロールを行っている。 ・地区部会と「東千葉 和・輪・環の会」が共催した「ハロウィン・パーティ」の際、子どもたちがお菓子をもらいに行く家として、地域の約15世帯に協力していただいた。参加者は子ども、大人、スタッフを入れて116名となった。 ・学区が3区にまたがっているため、子ども対象の地域行事のチラシ等は学校を通じて配布しており、区をまたがって参加者を受け入れている。 ・有志による防犯パトロールに子どもたちが参加している。 ・地区部会と和・輪・環の会によるサマーイベントを実施した。(7日間で、子どもは延べ20名、大人は延べ60名参加した。) ・地区部会が「子どもの日まつり」(4月開催 子ども25人大人33人参加)、「鬼まつり」(2月開催 子ども87人大人46人参加)を新たに企画し、実施した。				
	2 交流の場と仲間づくり		6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続し、菜の花サロン開催回数を2回から3回に増加。	・地区部会が「コミュニティサロン」を増やし、実施した。 (うたごえ喫茶[毎月]、スマホ活用の回[月2回]、ふれあいマルシェ[週1回]) ・「菜の花サロン」(千草台東小学校の授業の一環とした高齢者との交流会)を年2回実施した。 ・地区部会が「元氣カフェ」(脳トレ、体操、音楽療法)を週1回実施した。 ・住民、千葉大学、千葉市が連携して設立した「東千葉 和・輪・環の会」が、「えんがわサロン(茶話会)」「ぶらりとカルチャー」を実施した。				

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 東千葉地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
東千葉地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		7 地域での健康づくり支援の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会がノルディックウォークを週2回実施した。 ・「元氣カフェ」(脳トレ、体操、音楽療法)を週1回実施した。 ・地区部会、あんしんケアセンター、和・輪・環の会、民児協による福祉展を開催し健康相談などを行った。			
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会と和・輪・環の会によるサマーイベントでポッチャ体験会を実施した。 ・学区が3区にまたがっているため、青少年育成委員会との連携が困難であるが、情報共有に努めている。 ・学校、PTAの活動において、地区部会が「ベルマーク収集」「古タオル収集」など協力可能な事業に協力した。			
			9 子育てサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続し、子育てサロン開催回数を年2回から3回に増加。	・子育てサロンを年3回実施した。 ・児童母子福祉委員会と主任児童委員が中心となって、活動(ソフト面)について創意工夫しながら活動している。 ・地域保健推進員がいなくなり、対象者の把握が困難な状況である。			
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・毎年「まあいい広場まつり」に参加し、社会参加支援を実施している。 ・町内自治会と地区部会が共同で「山部ふれ愛まつり」を開催し、「オリーブハウス」「ジョブ作草部」「カフェ・ハーモニー」「まあいい広場」の販売ブースを設けた。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続し、 ・菜の花サロン開催回数を2回から3回に拡充。 ・地域のまつりを通じて、家族三世代など世代間交流の充実を目指す。	・地区部会が「菜の花サロン」(千草台東小学校の授業の一環として、1年生・6年生を対象にした高齢者との交流会)を年2回実施した。 ・町内自治会と地区部会が共同で「山部ふれ愛まつり」を開催し、「オリーブハウス」「ジョブ作草部」「カフェ・ハーモニー」「まあいい広場」の販売ブースを設けた。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の各種事業や「東千葉 和・輪・環の会」等の住民組織により、活動の場が増えてきている。 ・「東千葉 和・輪・環の会」が「ぶらりとカルチャー」「スマホ活用の会」「住民作品展」などを実施した。 ・「東千葉 和・輪・環の会」が週1回実施している「えんがわサロン(茶話会)」では、参加者の特技を生かす機会を提供し、高齢者の地域社会での活動の場を拡大した。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.10と同様)			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会、民児協、「東千葉 和・輪・環の会」で、「東千葉ふくし展」を開催した。 ・東千葉防災懇話会「くるま座の会」が連協の組織として位置づけられた。また、市や区職員を講師として、防災についての研修を実施した。 ・地区部会と和・輪・環の会による福祉セミナーを3回実施した。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域内で問い合わせがあれば、個別に地区部会役員や民生委員が対応している。 ・「東千葉 和・輪・環の会」があんしんケアセンター弁天の協力を得て、あんしんケアセンター職員に個別相談に乗っていただき、各種情報の提供をしていただいている。 ・「ハッピーボランティア東千葉」で、「ちょっと困った事の相談」の電話受付をしている。 ・地区部会が市職員を講師として、高齢者の食事についての研修会を元氣カフェ内で実施した。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・「社協だより」を年1回発行した。また、「行事案内」は毎月発行している。 ・「東千葉 和・輪・環の会」が発行している「タウンだより」に、住民の“お国自慢”や“わが街のお達人さん”を掲載している。また、新住民の自己紹介コーナーを設け、こうした記事をきっかけに住民の輪が広がり、人材の発掘にも繋がっている。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続し、菜の花サロンの開催を2回から3回に拡充。	・「菜の花サロン」(千草台東小学校の授業の一環として、1年生・6年生を対象にした高齢者との交流会)を年2回実施した。 ・東千葉防災懇話会「くるま座の会」で市や区職員を講師として、防災についての研修を実施した。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・住民有志が防犯パトロールを、週2回(月曜日・水曜日)行っている。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。 ・地区部会や自治会が特殊詐欺についての情報提供や警戒の呼びかけを行っている。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会単位の防災訓練と、4町内自治会合同防災訓練を実施した。 ・東千葉防災懇話会「くるま座の会」で市や区職員を講師として、防災についての研修を実施した。 ・災害時避難マップは配布している。 ・くるま座で防災井戸の清掃(毎週)など維持管理を行っている。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 西千葉地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針	
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)				
西千葉地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の役員に、町内自治会長や民生委員児童委員に就任いただいており、隔月に実施している役員会において、地域の情報交換を実施した。 ・地域でイベントがある場合は、実行委員会として各団体が集まって協力している。 ・例年、特別養護老人ホーム新千葉一倫荘が地域の困りごとについて意見交換する場を設け、町内自治会長や民生委員児童委員、地区部会に参加してもらっているが、コロナ禍以降は実施がなかった。				
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・一部の老人クラブや見守り協力員の方々が、地域で困っている方のゴミ出しや自宅前の掃除などのお手伝いを無償で行うとともに、町内の清掃も実施している。 ・地域のイベント等で協力依頼がある場合は、民生委員児童委員や各町内自治会、地区部会などで協力者を募って協力した。				
【人口・世帯数】 13,962人、8,075世帯 【町内自治会数】 6町内自治会 【高齢化率】 17.7% 【地域の特徴】 ○登戸、春日、汐見丘町、新千葉の一部を対象としたエリア。 地区内に京成の新千葉駅及び西登戸駅、JRの西千葉駅がある。 隣接する地域に千葉大学、千葉東高校、千葉商業高校等、複数の教育施設がある文教地域。			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 地域の見守り活動等を通して、災害発生時に円滑に避難ができるような地域づくりに努めたい。	・西千葉地区部会、第5地区町内自治会連絡協議会、第108地区民生委員児童委員協議会の三者協働で、平成19年から見守り活動として、「安心カード・緊急メモ」を作成し、現在は地域のひとり暮らし高齢者や障害者、75歳以上の高齢者を対象に安心カードを配布し、玄関や電話のある場所に設置してもらっている。救急車での搬送時には、連絡先等が明記されているため大変助かったと感謝されている。 ・6町内自治会すべてで、独自の方法により見守り活動を実施するとともに、今年度は見守り対象者の更新行った。向こう三軒両隣での目配りや声かけを実施した。 ・防犯パトロールにおいては、地域住民が「安心・安全」に生活できるよう、不審者情報・詐欺情報・火の用心等を周知し、実施した。 ・民生委員児童委員が、地域に来る移動販売車の利用時において、高齢者や障害者の見守りを行っている。	◎	【重点取組項目】 今年度同様		
活動事業名		実績に○印	○	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 前年度と同様、町内自治会と災害時要支援者に関する情報を共有し、災害時には避難支援を行う体制づくりに努めたい。	・民生委員児童委員が、把握している情報をもとに、災害時要支援者の同意を得て、名簿と対象者を地図に落とし込んだマップを作成し、町内自治会と情報を共有している。名簿とマップは今年度も更新した。 ・災害時には、日常的な見守り活動を行っている協力員が、避難支援を行う体制をとっている。 ・避難所運営委員会が、年1回運営会議を開催した。 ・町内自治会が、自治会ごとに防災訓練を実施した。 ・町内自治会では、行政から災害時要支援者名簿をいただき、実態の把握に努めている。 ・避難所運営委員会が、年1回研修会を開催し、その中で簡易ベッドの組み立て方法やトランシーバーの使い方の講習を行うとともに、備蓄品の確認等を行った。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
いきいきサロン		○							
子育てサロン		○							
散歩クラブ		－							
広報紙		○							
ボランティア講座		○							
ふれあい食事サービス		－							
敬老会	○								
見守り活動	○								
支え合い活動	－								
	2 交流の場と仲間づくり		5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・登戸小学校へ登録した町内自治会(住民)と民生委員児童委員が、セーフティウォッチャーとして登下校時の児童の見守り活動を実施している。 ・地区部会と青少年育成委員会が協力して、「こども110番のいえ」の既存協力者宅の確認と新規協力者宅の増設に努めた。 ・一部の老人クラブが、登戸幼稚園の園児と毎年、公園の花植えや水やり、花壇の清掃などを行っている。 ・町内自治会主体で、「ごみゼロの日」に小学生と町内自治会と一緒に各公園の清掃活動を実施した。子ども会も同様の活動を行っている。 ・一部の町内自治会が、子どもたちの健全育成や地域住民との交流を図る場としてサロンを開催している。 ・登戸小学校、緑町小学校では、PTAが主体となって「わくわくキャンパス」を実施している。また、1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動に、地域の方が参加し協力している。 ・登渡神社が、秋祭りや節分祭を開催し、多くの子どもたちが参加した。 ・青少年育成委員会が、納涼まつり等の地域行事を実施した。 ・一部の子ども会が、ハロウィンやクリスマス会、もちつき大会などのイベントを実施した。 ・登渡神楽囃子連が、わくわくキャンパスでお囃子を教えている。 ・子ども会が、ラジオ体操を実施した。				
			6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。 また、地区部会がいきいきサロンを年2回開催するほか、会食形式でのふれあい食事サービスを再開する。	・6町内自治会が、「高齢者対象サロン」を定期的に開催した。 ・一部の老人クラブが、折り紙や麻雀、映画会、ウクレレ、歌など、高齢者が集う催しを定期的に開催した。 ・地区部会が年2回「いきいきサロン」を、年2回「ふれあい食事サービス」をそれぞれ実施した。				

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 西千葉地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
西千葉地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 健康体操教室やシニアリーダー体操などの各種健康に関する行事を通して、地域住民の健康づくりに努めたい。	・地区部会が、中央介護福祉専門学校の先生を招いて、健康体操教室を実施した。 ・社会体育振興会が主催となって、ウォーキングを実施した。 ・シニアリーダーが、三和会館を会場に、シニアリーダー体操を実施した。 ・登戸ラジオ体操会が、毎日、登渡神社でラジオ体操を実施した。 ・一部の町内自治会でも、ラジオ体操を実施している。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・登戸小学校、緑町小学校では、PTAが主体となって「わくわくキャンパス」を実施している。また、1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動に、地域の方が参加し協力している。 ・登渡神楽囃子連が、わくわくキャンパスでお囃子を教えている。 ・一部の老人クラブが、登戸幼稚園の園児と毎年、公園の花植えや水やり、花壇の清掃などを行っている。 ・町内自治会主体で、「ごみゼロの日」に小学生と町内自治会が一緒に各公園の清掃活動を実施している。子ども会も同様の活動を行っている。 ・バレーボールやバドミントンの愛好会が毎週小学校の体育館で練習しており、社会体育振興会のバレーボール大会、バドミントン大会に参加している。 ・子ども会が、ラジオ体操を実施している。			
			9 子育てサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・0歳から3歳前後の子どもとその保護者を対象に、「よいこの広場」を年6回、登戸1丁目町内自治会館で実施した。 ・3歳以上の子どもと保護者を対象に、「ぴよんぴよんクラブ」を年10回、西登戸会館等で実施した。			
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・イベントを開催するにあたり、健常者と障がい者の区別なく対応するよう心掛けている。			
		○	11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	【重点取組項目】 前年度と同様、ミニバザーや交流会、発表会の開催などを通して地域住民の世代の枠を超えた交流の場づくりに努めるとともに、地区部会、福祉活動推進員が主催となり、サロン活動を実施したい。 なお、令和6年度のバザーについては、秋の開催を予定している。	・地区部会が、登戸1丁目公園で10月に「ふれあい福祉バザー」を実施した。近隣の親子連れ、若者、高齢者が集まり、世代を超えた交流の場となった。 ・町内自治会主体で実施している「清掃活動(クリーンデイ)」や「花壇の花植え活動」等 に、大人も子どもも参加し、交流の機会となった。 ・一部の町内自治会では「文化祭」を開催し、大勢の参加者が集まり、地域での交流の場となった。	◎	【重点取組項目】 地区部会では、これまで「バザー」として行っていた行事を「フェスティバル」として開催し、お楽しみの場をより多くし、誰もが参加できるように内容の充実に努めたい(11月予定)	
			3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が実施している「見守り活動」や「ふれあい福祉バザー」等の各種事業に、高齢者がボランティアとして参加している。 ・一部の老人クラブや見守り協力員が、地域で困っている方のゴミ出しや自宅前の掃除などのお手伝いを無償で行うとともに、町内の清掃も実施している。 ・公園の植木の手入れや管理を高齢者が行っている。		
				13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・イベントを開催するにあたり、健常者と障がい者の区別なく対応するよう心掛けている。		
	4 地域福祉力向上、担い手づくり	○	14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	【重点取組項目】 交流の場をつくるとともに、地域住民が地域福祉活動の担い手となるきっかけづくりの場を設けるよう努めたい。 地区部会では、サロン活動を実施する予定である。	・地区部会が、中央介護福祉専門学校の先生を招いて、健康体操教室を実施した。 ・一部の町内自治会では、老人クラブと協力して、認知症や口腔ケア等の福祉講座を開催した。 ・1丁目と2丁目の町内自治会合同で8月に盆踊りを町会を問わずの参加自由で開催した。	◎	【重点取組項目】 交流の場をつくるとともに、地域住民が地域福祉活動の担い手となるきっかけづくりの場を設けるよう努めたい。	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 西千葉地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
西千葉地区部会エリア	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員児童委員や町内自治会の役員が対応している。見守り協力員から民生委員児童委員に相談が繋がる仕組みもできている。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・現在は「ふくし・防災ガイド&マップ」を活用している。 ・各町内自治会で、地域の福祉マップを作成している。 ・地区部会が社協だよりを年1回作成・発行し、地区部会活動のお知らせや活動報告を住民へ周知している。A4版カラー印刷で1,100部作成し、回覧及び配布をした。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・老人クラブが登戸幼稚園の園児と毎年、公園の花植えや水やり、花壇の清掃などを行う活動や、町内自治会主体で「こみゼロの日」に小学生と町内自治会と一緒に各公園の清掃を行う活動を通じ、児童に地域の一員として活動する機会を設けている。 ・小学校では、公園の清掃活動を行っており、その際、一部の老人クラブと一緒に活動している。 ・登戸小学校、緑町小学校では、PTAが主体となって「わくわくキャンパス」を実施している。また、1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動に、地域の方が参加し協力している。 ・地区部会が、中央介護福祉専門学校の協力のもと、健康体操教室を実施した。 ・一部の町内自治会が、老人クラブと協力して、福祉講座を開催している。 ・地区部会が、いきいきサロンの中で災害時の生活支援に関する講習を行った。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・老人会や子ども会、町内自治会、青少年育成委員会等が、地域パトロールを実施しており、その中で防犯に関する情報共有を行っている。 ・地区部会と育成委員会が協力して、「こども110番のいえ」の既存協力者宅の確認と新規協力者宅の増設に努めている。 ・地域で「あいさつ運動」を実施している。 ・移動交番が、三和会館に開設されている。			
		○	19 防災体制の充実	【重点取組項目】 防災講座や防災訓練の実施等を通して、地域住民が災害時において円滑に避難等ができるよう努めたい。	6町内自治会では、すべてに自主防災会があり、各防災会が、年1回、安全確認、避難訓練、初期消火、応急手当訓練、非常食配布、発電機起動実演、AED訓練、ハイゼックス訓練、起震車、煙体験などの訓練や防災講座を実施しており、赤十字奉仕団と協力している。防災訓練には子どもたちも参加している。	◎	【重点取組項目】 防災訓練の実施等を通して、地域住民が災害時において円滑に避難等ができるよう努めたい。	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 中央地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針	
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)				
中央地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会や民生委員、育成委員会、子ども会等、地域の関係団体が地区部会に関わっており、地区部会の会合等で連携を図ることを検討した。				
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、いきいきサロンを年10回開催している。				
【人口・世帯数】 8,353人、5,310世帯			3 見守り体制をつくる	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・6町内自治会中、2町内自治会で、75歳以上のひとり暮らし高齢者のうち見守りを希望する方を対象に、目配りによる見守りを実施した。 ・既に実施している町内自治会では、見守り希望者を再募集し、活動の充実を図った。 ・地区部会の役員会等で、未実施の町内自治会に対する働きかけは、継続して実施しており、併せて民生委員による個別の見守りも行っている。				
【町内自治会数】 6町内自治会									
【高齢化率】 16.7%									
【地域の特徴】 ○弁天、柴町、富士見、本千葉町、新町の一部、新千葉の一部を対象としたエリア。 JR千葉駅周辺の地区で、駅北口側の住宅地や千葉公園、東口側の商業施設や繁華街が共存している地域。			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会ごとに防災訓練は実施しているものの、地区によって温度差がある。 ・平成30年に設立された弁天小学校避難所運営委員会では避難所運営マニュアルを作成し、令和6年の避難所開設訓練ではマンホールトイレ設置訓練を行ったほか、新たな地域内協力者を加えて人員体制の充実も図った。 ・弁天町会は、千葉市避難行動要支援者名簿を2024年1月に受領し、運用に入った。				
活動事業名		実績に○印	○	5 すべての子どもを地域で育てる	【重点取組項目】 ・地区部会では、毎朝、消費生活センター前の信号及び弁天4丁目一方通行信号前で見守りを行うとともに、毎週金曜日の下校時に小学1～2年生を対象に消費生活センター前の信号でも見守りを行う。 ・児童の健全育成を図るため、地区部会と生涯学習センターが共催し、「夏休み親子お楽しみ会」を開催し、児童向けの映画鑑賞などを通して、児童の情操を養うとともに地域の連携を深める。 ・弁天小学校の「わくわくキャンパス」を隔週の木曜日に実施する。開催時間を14時30分から15時30分とし、5月から2月まで計15回、ソフトボールやキックベースボール等を実施する予定であり、地区部会も協力する。 児童は放課後の行事参加者が減少しており、例ね実施していたソフトボール大会も参加者が減少しているため、ポッチャへの変更を予定する。 ・地域住民がセーフティウォッチャー登録し、児童を見守る活動を実施する。	・地区部会では、毎朝、消費生活センター前の信号及び弁天4丁目一方通行信号前で見守りを行った。また、毎週金曜日の下校時に小学1～2年生を対象に、消費生活センター前の信号でも見守りを行った。 ・児童の健全育成を図るため、地区部会と生涯学習センターが共催し、「夏休み親子お楽しみ会」を開催し、児童向けの映画鑑賞などを通して、児童の情操を養うとともに地域の連携を深めた。(参加者221名) ・弁天小学校の「わくわくキャンパス」を隔週の木曜日に実施した。開催時間を14時30分から15時30分とし、5月から2月まで計10回開催し、ソフトボールやキックベースボール等を実施し、地区部会も協力している。 ・地域住民がセーフティウォッチャーとなり、通学路での見守り活動を実施した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
いきいきサロン		○							
子育てサロン		○							
散歩クラブ		－							
広報紙	○								
ボランティア講座	○								
ふれあい食事サービス	－								
敬老会	○								
見守り活動	○								
支え合い活動	－								
	2 交流の場と仲間づくり		6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 ・地区部会(高齢者福祉委員会)が、いきいきサロンを3会場で実施する。中央区健康課の筋力体操や、あんしんケアセンター中央の健康講話を取り入れる等、内容の充実に努め、高齢者の健康維持や仲間づくりに取り組む。令和6年度も年11回実施予定である。 ・弁天では75歳以上の独居高齢者に参加を呼びかけているが、参加者は10～15名と少ない。令和6年度は参加者を増やすため、75歳以上の高齢者約300名に参加を呼びかけたい。	地区部会(高齢者福祉委員会)が、いきいきサロンを3会場で実施した。 中央区健康課の筋力体操や、あんしんケアセンター中央の健康講話を取り入れる等、内容の充実に努め、高齢者の健康維持や仲間づくりに取り組んでおり、令和6年度はこれまでに10回実施した。	◎	【重点取組項目】 ・地区部会(高齢者福祉委員会)が、いきいきサロンを3会場で実施する。中央区健康課の筋力体操や、あんしんケアセンター中央の健康講話を取り入れる等、内容の充実に努め、高齢者の健康維持や仲間づくりに取り組む。令和7年度も年11回実施予定である。 ・弁天では75歳以上の高齢者に参加を呼びかけているが、参加者は20名前後である。令和7年度は参加者を増やすため、75歳以上の高齢者に参加を呼びかけたい。		

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 中央地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
中央地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		7 地域での健康づくり支援の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会の老人クラブやサークル等で合唱や脳トレを行った。 ・千葉パーク友の会(地区内体操サークル)が、千葉公園運動広場で、毎朝、健康体操を行っている。 ・全町民を対象に、落語鑑賞会を開催した。(参加者40名[役員5名を含む])			
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 わくわくキャンパスについては従事者の負担等も考慮し、回数を10回に改めて実施する。	・弁天小学校の「わくわくキャンパス」を隔週の木曜日に実施した。実施時間を14時30分から15時30分に変更の上、5月から2月まで計10回開催し、ソフトボールやキックベースボール等を実施し、地区部会も協力している。 ・地区部会と生涯学習センターが共催し、「夏休み親子お楽しみ会」を開催し、児童向けの映画鑑賞などを通して、児童の情操を養うとともに地域の連携を深めた。(221参加[役員9名を含む])			
			9 子育てサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、子育て中の親子を対象に、親同士の情報交換や栄養士・歯科衛生士からのお話し、読み聞かせ、親子体操等を内容とした子育てサロンを、年6回実施した。			
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 また、千葉公園内の蓮華亭コンサートへの協力を行う。	・地区部会が実施している「社協まつり」でカフェ・ハーモニーと連携協力の予定だったが雨天により中止となった。 ・カフェハーモニーの広報(地域でのチラシの配布)に協力したほか、行事に積極的に参加し、会員の加入を促進した。また、老人クラブが、月2回の定例会の後、カフェ・ハーモニーで食事をし、売上に貢献している。 ・千葉公園内蓮華亭のコンサート開催のため、チラシの作成や配布、会場の設営と片付けなどに地区部会が協力した。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が「社協まつり」を実施予定であったが雨天中止となった。 ・地区部会が令和6年11月にパルーンアート教室を企画開催。小学生5名を含む20名の参加。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 防犯パトロールの他、清掃活動も実施する。	・地区部会が実施している各種事業に高齢者がボランティアとして参加している。 ・月一回の自治会ごと防犯パトロールは、高齢者も参加している。 ・弁天町会では年3回の清掃活動に高齢者も参加している。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 また、千葉公園内の蓮華亭コンサートへの協力を行う。	(No.10と同様)			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・いきいきサロンにおいて「筋力体操の講座」を開催するなど、さまざまな事業の中で類似の講座を実施した。 ・地区部会の主催で認知症予防講座を2回行うなど、地域住民の関心を引く企画を実施している。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会役員、民生委員が個別に対応している。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・年3回社協だよりを発行した。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・弁天小学校の「わくわくキャンパス」を隔週の木曜日に実施した。実施時間を14時30分から15時30分に変更の上、5月から2月まで計10回開催し、ソフトボールやキックベースボール等を実施し、地区部会も協力している。 ・地区部会とPTA、子ども会、各町内自治会による実行委員会を組織し、社協まつりを企画。地域の子どもたちも参加の予定であったが、雨天により中止。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 中央地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
中央地区部会エリア	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	【重点取組項目】 ・地区部会では、弁天小学校の1・2年生とその保護者を対象に、NPO法人「体験型安全教育支援機構」を講師に迎え、「児童向けの安全教室」を行い、不審者に捕まりそうになった時の逃げ方等を訓練することとし、参加対象者を1～3年生まで広げ、参加者の増加を図りたい。 ・町内自治会では、防犯に対する意識の向上を図るため、防犯パトロールを実施することとし、1町会あたり月1回の実施を目標としたい。	・地区部会では、弁天小学校の1・2年生とその保護者を対象に、NPO法人「体験型安全教育支援機構」を講師に迎え、「児童向けの安全教室」を実施し、不審者に捕まりそうになった時の逃げ方等を訓練した。(参加者:親子6組[14名]、地区部会役員6名) ・町内自治会では、防犯に対する意識の向上を図るため、防犯パトロールを実施した。	◎	【重点取組項目】 ・地区部会では、弁天小学校の1・2年生とその保護者を対象に、NPO法人「体験型安全教育支援機構」を講師に迎え、「児童向けの安全教室」を行い、不審者に捕まりそうになった時の逃げ方等を訓練することとし、参加対象者を1～3年生まで広げ、参加者の増加を図りたい。 ・町内自治会では、防犯に対する意識の向上を図るため、防犯パトロールを実施することとし、1町会あたり月1回の実施を目標としたい。 ・小学校新一年生を対象に、地域内のこども110番の家を実際に訪問したい。	
			19 防災体制の充実	【重点取組項目】 ・町内自治会では、避難所運営開設訓練を実施することとし、1町会あたり年1回の実施を目標としたい。	・弁天町会では、7月13日に避難所開設訓練を実施し、マンホールトイレの設置訓練も行った。 また、各町会では防災訓練を実施した。 ・新町では他地区部会エリアも含む学区内合同での新宿小学校避難所開設訓練を行った。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 新宿地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
新宿地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が核となり、民生委員、町内自治会、あんしんケアセンターが参加する役員会(2か月に1回)などでネットワーク作りを行い、各団体の情報を共有している。			
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・拠点を設けての活動は行っていないが、民生委員が個別に対応している。			
【人口・世帯数】 13,474人、7,999世帯 【町内自治会数】 5町内自治会 【高齢化率】 16.2% 【地域の特徴】 ○新宿、神明町、新田町、出洲港を対象としたエリア。 千葉市のほぼ中心に位置し、近くにはJR千葉駅や京成千葉中央駅等がある。学区及び周辺に、デパート等の大型店舗が軒を並べる市内有数の商業地域がある。新興集合住宅が多く建設され、ファミリー層が流入してきている。		○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 あんしんケアセンターと連携した見守り活動や、75歳以上の方に対する安心カードの配布などを通して、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。	・民生委員が主体となり、あんしんケアセンターと連携しながら見守りを行っている。また、マンションについては管理人に見守りを願っている。 ・町内自治会や老人会では、諸行事を通じて顔見知りになる機会を設け、緊密な人間関係の構築に努めている。 ・地区部会では、今年度安心カードを作成し、令和6年度より75歳以上の方へ順次配布できるよう準備を進めた。また、見守り活動に協力いただける方に、セーフティウォッチャーや近所のさりげない見守り活動に参加協力いただいているほか、セーフティウォッチャーのグループラインで安全のための情報共有を行っている。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定:前年度同様の取組みを継続する。	新宿小学校の避難所運営委員会が設立され、隔月で会議を開催している。避難所運営委員会では、避難所に避難してきた人々に対してスムーズな受入れが出来るよう、100人規模での住民参加による避難訓練を実施した。			
活動事業名実績に○印			5 すべての子どもを地域で育てる	【重点取組項目】 地域行事の開催や子育てに関する集いの場づくりなどを通して、子どもたちが地域住民と顔見知りになる機会を設け、地域の中で安全に過ごせるような環境づくりに努めたい。	例年、町内自治会や子ども会では、餅つき、お祭り、お花見、盆踊り、新年会、敬老会の余興など、地域の行事に子どもたちが参加し、住民と交流を図った。 地区部会では、初めて出産を経験した両親を対象に、子育てに関する悩み相談及び母親同士の友だちづくりの場として、「ぶち・あんじゅ」を年4回開催した。 母親を対象とした子育てサークル「学びと気づきの教室『mama'sの会』」を月1回(毎月第3木曜日)それぞれ開催し、子育て中の親の育児相談を受け付け、子育てに関する悩みに対応した取り組みを行った。 また、地区部会では民生委員を中心に新宿保育所内の地域子育て支援センター「にこにこルーム」にボランティアとして参加した。 地域住民が、「こども110番のいえ」に協力するとともに、セーフティウォッチャーとして学校に30名程度登録して登下校時の子ども達の安全を見守っているほか、セーフティウォッチャーのグループラインで安全のための情報共有を行っている。 地区部会が、子ども会の活動に協力をしている。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
		○	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 ふれあい・いきいきサロンの実施などを通して、高齢者がの閉じこもりの防止や仲間づくり、社会参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。 なお、ふれあい・いきいきサロン「ゆうきのサロン」については隔月で開催する予定である。	地区部会では、高齢者の仲間づくりの場を提供するため「ふれあい・いきいきサロン」を年6回実施した。 町内自治会や老人クラブではグラウンドゴルフ、カラオケ等を実施し、月1回程度は高齢者が交流する機会を設けている。また、婦人部による「歌の会」を毎月1回実施している。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
		○	7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 地域の高齢者の閉じこもり防止や仲間づくり、健康の維持増進を図る機会を設け、介護やフレイルの予防に努めたい。 次年度においては「歩こう会」や「ポッチャ体験」などの活動をあんしんケアセンターが主催となって実施する予定であり、地域としてあんしんケアセンターの行事に参加協力していきたい。	・地区部会で高齢者を対象に、「健康づくりのための体操」を実施した。 ・スポーツ振興会では、グラウンドゴルフ大会を年2回開催した。 ・新宿公民館では、週1回、シニアリーダー体操が行われている(主催はシニアリーダー) ・新宿2丁目会館で、町会による健康マーじゃんを週2回、誰でも参加できる形で開催し、高齢者の交流の機会を設けている。 ・地区部会主催のいきいきサロンで健康に関する講話などを企画実施している。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・スポーツ振興会で、グラウンドゴルフを実施した。 ・地区部会が、子ども会の活動に協力をしている。			
		○	9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 子育てサークルの実施などを通して、地域の子育て中の親子の孤立化の防止や仲間づくりの場と機会の拡充を図りたい。 なお、老人クラブによる昔遊びや折り紙の指導については、再開に向けて検討していきたい。	・地区部会では、幼少期の子どものいる親の負担を軽減するため、新宿公民館で「0歳児の親子育児サークル『ぶち・あんじゅ』」を年4回、母親を対象とした子育てサークル「学びと気づきの教室『mama'sの会』」を月1回(毎月第3木曜日)それぞれ開催し、子育て中の親の育児相談を受け付け、子育てに関する悩みに対応した取り組みを行った。 ・新宿保育所内の地域子育て支援センター「にこにこルーム」にボランティアとして参加した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 新宿地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
新宿地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	【重点取組項目】 地域の障がい者福祉施設との交流を通して、地域住民の障がい者と相互理解を図れるよう努めたい。 障がい者福祉施設における「ボランティア活動の再開」や「地域行事とのコラボレーション」については、検討を行っていききたい。	例年、地区部会の障がい者福祉委員会が、千葉県聴覚障害者協会の就労継続支援施設「らいおん工房」で、月1回、広報紙の発送等を手伝うボランティア活動を行い、障がい者との交流を図っているが、新型コロナの影響により再開には至らず、現在交流が困難であるため、毎月訪問を行うなど継続した協議を行っている。 なお、マルシェでの販売品の材料の寄付や販売品の購入協力などの形で交流は継続している。	○	【重点取組項目】 地域の障害者施設との交流を図るよう努める。	
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定: 盆踊りを町内自治会の主催とし、より多くの地域住民への参加を呼び掛ける。	・住民の交流を図るため、各町内自治会での盆踊りや夏祭り、花見等、誰でも参加できる地域行事を実施した。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定: 前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会や町内自治会の事業の運営に高齢者が参加している。 ・老人会と地域住民が共同で、神社や公園の清掃を行っている。 ・月3回の自治会主体による新宿公園の清掃活動に高齢者が参加している。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定: 前年度同様の取組みを継続する。	・自治会などのイベントの広報は障害の有無に関わらず、地区部会の協力により地域住民に回覧で広報している。			
	4 地域福祉力向上、担い手づくり	○	14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	【重点取組項目】 地域住民に対する福祉活動等への呼びかけなどを通して、地域での福祉活動への理解と参加の促進に努めるとともに、「福祉に関する講座」の開催について検討していききたい。	・地域での公園清掃活動や地域行事などに、地区部会や町内自治会が参加を呼びかけ、多くの地域住民が地域活動に参加する機会を提供している。 ・また、地域のグループ主催による月一回の千葉港ビーチクリーンへの参加呼びかけについて地区部会が協力している(令和6年度より) 地区部会のボランティア委員会では「福祉に関する講座」開催に向けた検討を行った。	○	【重点取組項目】 地域住民に対する福祉活動等への呼びかけなどを通して、地域での福祉活動への理解と参加の促進に努める。	
	5 相談体制、情報提供の場づくり	○	15 相談体制・情報提供の充実	予定: 前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員や町内自治会が、地域の方々の個別の相談に応じ、対応が困難なケースについては、専門機関の情報を提供している。 ・隔月に実施する地区部会の役員会において、地域の関係団体の情報共有を図っている。 役員会には、あんしんケアセンターに毎回参加いただき、情報共有するとともに、高齢者に関する相談が気軽にできる関係性の構築に努めている。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	【重点取組項目】 広報紙の発行や、防災マップの見直し等を通して、福祉や防災に関する情報の入手機会を増やし、地域での孤立化の解消を図れるよう努めたい。	・地区部会が広報紙を年2回発行した。 ・各町内自治会で防災マップを作成しているが、進捗状況にはばらつきがある。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定: 前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会があんしんケアセンターと連携して、新宿中学校1年生を対象に、認知症に関する講座を開催し、認知症に対する理解の促進を図った。			
	7 人にやさしい生活環境づくり	○	18 防犯対策の推進	【重点取組項目】 防犯パトロールなどの実施を通して、地域住民が安心してその地域で生活ができるよう、防犯意識の向上を図れるよう努めたい。	町内自治会では、月2回、防犯パトロールを実施するとともに、地域交番(京成交番)や消防団と連携し、地域の防犯意識の向上に取り組んだ。 また、防犯パトロールの際には、防犯灯(街路灯)の不点灯等の確認を行っているほか、セーフティウォッチャーのグループラインで安全のための情報共有を行っている。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
		○	19 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 避難訓練や防災訓練の実施などを通して、地域住民が自身や家族等の安全が守れるよう、防災意識の向上を図れるよう努めたい。	・新宿小学校の避難所運営委員会が設立され、隔月で会議を開いている。避難所運営委員会では、避難所に避難してきた人々に対してスムーズな受入れが出来るよう、住民参加による避難訓練を実施し、例年、100人強が参加している。 ・多くの人々が参加しやすいよう、災害時に必要な情報を避難所運営委員会がホームページで発信するなど、住民の意識向上に取り組んだ。 ・避難所運営委員会で段ボールベッド組立やマンホールトイレの使用実技訓練、赤十字救急法などを取り入れた防災訓練を年1回開催した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 千葉みなと地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
千葉みなと地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 地域での各種会議を通して、地域の各種団体の強みを活かしながら地域課題の解決に向けて各種団体の連携を図るよう努めるとともに、アンケート結果に対し、新たな地域活動についての検討を行いたい。	・町内自治会や民生委員・児童委員、行政等の関係機関・団体が集まり、「千葉みなと地区部会」、「千葉みなと地区自治会連合会」、「新宿中学校避難所運営委員会」の定期会合をそれぞれ2か月に1回開催し、地域課題の意見交換を行った。 ・地区部会が千葉市みなと活性化協議会に協力し、「さんばしまつり」を実施するなど、他団体とのさらなる連携が図られている。 ・地区部会が、学校や民生委員などとの協力を得て、地域に居住している小・中学生の保護者を対象に「地域での困りごと」や「地域行事等への協力」について令和5年度に実施したアンケート結果に基づき、評価を行った。 その結果、セーフティウォッチャー活動に対する要望について関心が強いことがわかったため、地区部会等がセーフティウォッチャーの募集等を行い、4名の応募があり、うち2名が活動を開始した。	◎	【重点取組項目】 地域での各種会議を通して、地域の各種団体の強みを活かしながら地域課題の解決に向けて各種団体の連携を図るよう努める。	支え合いサポート隊の連絡会設置を検討。 支えてほしい人、支えていきたい人のマッチングを進める体制作りが課題。
【人口・世帯数】 10,526人、4,621世帯			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・個別のケースについては、町内自治会長や民生委員が個別に支援にあたっている。 ・地区部会の中で、令和7年度の立ち上げを目指す「支え合いサポート部隊(仮称)」について、12月に打ち合わせを実施した。			
【町内自治会数】 11町内自治会		○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 地域の高齢者等などの情報把握などの活動やセーフティウォッチャー活動を通して、安全・安心な地域づくりの体制構築が図れるよう努めたい。	・地区部会が、民生委員の協力によりひとり暮らしの高齢者や要介護者等の実態を把握した。 ・地区部会がセーフティウォッチャーを募集し、地域のセーフティウォッチャーを2名増やしたことで、地域安全・地域福祉の充実化が図られている。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	避難行動要支援者名簿を自治会や管理組合として所持・管理を進めたい。
【高齢化率】 14.2%			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・避難所運営委員会では、災害時に備え、隔月で定例会議を開催するとともに、年1回避難所開設訓練を実施した。			
【地域の特徴】 ○中央港、千葉港、問屋町を対象としたエリア。 ほとんどの住民がマンションに居住している。			5 すべての子どもを地域で育てる	予定：前年度同様の取組みを継続する。 なお、前年度実施した保護者を対象としたアンケートについては、その結果に対し新たな地域活動についての検討を行いたい。	・地域全体でセーフティウォッチャーとして活動し、地区部会が募集して地域のセーフティウォッチャーを増やしたことで、地域安全・地域福祉の充実化が図られている。 ・こども110番のいえに、地域住民・店舗・企業・マンション管理組合が協力している。 ・地区部会がセーフティウォッチャーやこども110番のいえの協力者募集のポスターを作成し、マンション等に掲示するなど、協力者の確保に向けての協力を実施した。			
活動事業名			6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定：前年度同様の取組みに加えて、地区部会ではいきいきサロンを実施する。	・高齢者の交流を図るため、一部の町内自治会では集会所を利用し、シニアリーダー体操等を実施した。 ・落語会、チャイ飲み会、音楽会等、高齢者が交流する場を各町内自治会で実施し、地区部会ではその情報を共有している。 ・ピアポート千寿苑が、毎月第1・第3土曜日の午後11時から、高齢者を含め誰もが参加できるサロンを開催した。 ・サロンなどの地区部会における拠点の確保については、検討課題として認識している。			
いきいきサロン			7 地域での健康づくり支援の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・高齢者の健康増進を図るため、一部の町内自治会では集会所を利用し、シニアリーダー体操を実施した。 ・地区部会が、地域住民の交流を図るため実施している「歩こう会」は、令和7年度の実施に向けて検討中である。			
子育てサロン			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。 なお、前年度活動再開に向けて検討した「歩こう会」については再開する予定。	・町内自治会ごとに、夏祭り、クリスマス会、文化祭等を活動を実施した。			
散歩クラブ			9 子育てサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・一部の町内自治会が、年1回、新1年生の親子の交流会を実施している。 ・マンションが実施している夏祭りで交流を図っている。 ・新宿地区部会のサロン開催のパンフレットを配布している。 ・地区部会では、子育てサロンの実施に向けて検討を行った。 ・サロンなどの地区部会における拠点の確保については、検討課題として認識している。			
広報紙			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会として情報収集を行うなど、活動の実施に向けて検討中。			
ボランティア講座			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定：前年度同様の取組みに加えて、マリンコート町内自治会でサロンを実施する。	・マンションが実施している夏祭り等で交流を図っている。 ・ピアポート千寿苑が、毎月第1・第3土曜日の午後11時から、誰もが参加できるピアポートカフェを開催した。 ・町内自治会が実施している公園清掃には企業も協力しており、地域の大人や子どもも多く参加し、世代間交流の機会となった。			
ふれあい食事サービス								
敬老会								
見守り活動								
支え合い活動								

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 千葉みなと地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
千葉みなと地区部会エリア	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・一部の町内自治会で、文化祭を実施しており、高齢者が趣味を披露する場となっている。 ・一部の町内自治会で、クリーンアップ作戦の案内をし、活動への参加を呼び掛けている。 ・一部の町内自治会で「いきいきマージャン」を開催した。 ・地域の高齢者がセーフティウォッチャー活動を行い、地域安全・地域福祉の充実化が図られている。 ・町内自治会が実施している公園清掃に、地域の高齢者が参加し、清掃活動を行った。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会として情報収集を行うなど、活動の実施に向けて検討中である。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会として情報収集を行うなど、活動の実施に向けて検討中である。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員や町内自治会役員が対応している。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・「ちばみなと.jp」と連携し、地域のイベント情報の発信に努めている。 ・地区部会だよりを年1回発行した。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会が実施している公園清掃に、地域の子どもたちが参加し、清掃活動を行うことで、地域の一員として活動している。 ・地域のセーフティウォッチャーが、児童・生徒に対し、挨拶などの声掛けを通して、児童・生徒に対する福祉教育・情操教育を行っている。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域全体でセーフティウォッチャー活動を行っている。 ・こども110番のいえに、地域住民・店舗・企業・マンション管理組合が協力している。 ・地区部会がセーフティウォッチャーやこども110番のいえの協力者募集のポスターを作成し、協力者の確保に協力している。 ・一部の町内自治会では、月1回、防犯パトロールを実施している。 ・問屋町・千葉港東地区町内自治会が、防犯カメラや防犯パトロールののぼり旗を設置している。			
		○	19 防災体制の充実	【重点取組項目】 災害時への対応に関する会議の開催や各種訓練の実施を通して、地域住民が災害時において円滑に避難等ができるよう努めたい。	避難所運営委員会では、災害時の対応を協議するため、隔月で定例会議を開催するとともに、年1回、避難所開設訓練を行った。 また、各マンションでトランシーバーを導入し、災害時の支援体制を整備するとともに、使い方についての訓練を実施した。 各マンションでは、年1回、消防による初期消火訓練等の防災訓練を実施した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	地区部会として地区全体の状況把握を進める。

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 蘇我地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方 針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
蘇我地区部会エリア	1 身近なコミュニ ティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協 議体等の設置・推進	【重点取組項目】 地域での各種会議を通して、地域の各種団体の 強みを活かしながら役割分担を明確にしつつ、地 域課題の解決に向けて各種団体の連携を図るよ う努めたい。	・新型コロナの影響で実施できなかった地域ケア会議を再開し、R6年11月に一回開催し た。 また、民児協定例会(月1回)の会議に、あんしんケアセンター職員にも参加していただ き、問題点の共有化を図った。 また、コミュニティ懇談会【地域運営委員会】(年4回)や青少年育成委員会(年6回)に参 加し、地域課題について情報交換を行うとともに、地区部会の会議や活動を通じて関係団 体との連携を図った。 ・介護付有料老人ホーム「そんぼの家 蘇我」と地域が連携した取り組みについて協議した 結果、これまで施設を利用し開催してきた高齢者の集いの場については、新型コロナやイ ンフルエンザの感染状況などを鑑み、R6年度とR7年度は中止し様子を見ることとなった。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域の問題点に対しては、主に民生委員や地区部会が対応している。			
			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 地域の見守り活動を通して、災害発生時に円滑 に避難ができるような地域づくりに努めたい。	・地区部会が、地区内の8町内自治会を通じて町内自治会加入の全世帯を対象に配布して いる「冷蔵庫保管用安心カード」については、記載内容の見直しを行い、町内自治会を 通じて配布した。 また、町内自治会未加入の75歳以上のひとり暮らし高齢者については、民生委員の協 力を得て、5月の「高齢者実態調査」の際に配布した。 ・地域の見守りに対する意識の向上を図るため、町会や避難所運営委員会と連携したが、 実施予定だった「地域見守り活動～オレンジフェスティバル～」は中止とし、R7年度につい ても様子を見ることとした。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			4 災害時に支援を必要とする 人の避難支援	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区内4か所の避難所すべてに「避難所運営委員会」が設立されており、各避難所運営 委員会が、九都県市防災訓練の実施日に合わせ、避難所の設備・備品の点検等を行っ た。 訓練の際は、福祉的配慮を必要とする人をケアする内容を加え改定した避難所運営マ ニュアルを活用するとともに、マニュアルの修正が必要な箇所を改正した。 ・避難所運営委員会として、消防署の方を招いて講演会を実施した。			
		○	5 すべての子どもを地域で育 てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	子どもたちの安全を守るため、「セーフティウォッチャー」や「こども110番のいえ」に地域 住民が協力した。 また、不審者対応として、青色回転灯装着車によるパトロールも計画どおり実施すると ともに、パトロール活動への支援として、若干のガソリン代の支給やドライブレコーダーの貸 与等を実施した。 地区部会が蘇我小学校から依頼を受ける、年1回の「昔あそび」のゲストティーチャーとし て役員が協力しているが、R6年度はできなかった。蘇我小学校で全学年を対象に月1回実 施している「わくわくキャンパス」に、内容に応じて参加・協力した。 「ローゼンそが保育園」と、新たに認可保育園「そがチャイルドハウス」の昔遊びのゲスト ティーチャーとして役員が協力することとなっていたが、新型コロナおよびインフルエンザの 影響で実施できなかった。 R6年度は、町内会の方が講師となり地域の歴史を学ぶ講演を蘇我小学校で開催した。			
			6 ふれあい・いきいきサロンの 充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施を通して、地域の高齢者 の閉じこもり防止や仲間づくり、社会参加を図る機 会を設け、フレイルの予防に努めたい。	・地区部会が、いきいきサロンを4会場で年間各4回、計16回実施した。 また、健康増進のためにポッチャを試験的に4会場で各1回実施した。 新型プロジェクターやパソコン、体操のDVDを購入し、サロンの会場で活用した。 (こうした会場を今後増やしていきたい) ・R7年度にはグラウンドゴルフを取り入れたふれあいサロンを週2回企画している。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			7 地域での健康づくり支援の 充実	【重点取組項目】 ふれあい・散歩クラブや健康促進に関する講座 等を通して、地域の高齢者の閉じこもり防止や健 康の維持増進を図る機会を設け、介護・フレイル の予防に努めたい。	例年、60歳以上の高齢者を対象に、健康維持や交流の場づくりを目的として実施してい る「ふれあい・散歩クラブ」「ふれあい・いきいきサロン」を実施した。 また、健康促進に関する年1回の講座、高齢者の健康増進を図るために地区部会として 協力している、スポーツ振興会及び老人クラブで行っているスポーツ活動や蘇我いきいき センターで月2回行われている健康体操を実施したほか、フレイル予防の講習会を、蘇我、 今井、若草の三か所で実施した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			8 地域でのスポーツ活動及び 文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・「わくわくキャンパス」に地域の中関係者が加わり実施した。 ・蘇我小学校の昔遊びのゲストティーチャーとして地区部会役員が活動した。 ・「ローゼンそが保育園」、「そがチャイルドハウス」の昔遊びのゲストティーチャーとして地 区部会役員が活動する予定であったが、インフルエンザの感染状況等に鑑み、当面の間 中止となった。 ・地区部会がスポーツ振興会と共同で、蘇我小地区町民運動会を実施した。 ・蘇我小学校区内の3地区にて、盆踊り大会を実施した。			
		○	【人口・世帯数】 18,866人、10,452世帯					
			【町内自治会数】 9町内自治会					
			【高齢化率】 16.1%					
			【地域の特徴】 ○蘇我、今井、若草、南町を対象としたエリア。 JR蘇我駅周辺の地区で、隣接地区の製鉄所 跡地に大規模ショッピングセンターやサッカー場 ができ、交通量の増加など環境が徐々に変わり つつある。					
			活動事業名	実績に○印				
			いきいきサロン	○				
			子育てサロン	○				
			散歩クラブ	○				
			広報紙	○				
			ボランティア講座	○				
			ふれあい食事サービス	-				
			敬老会	-				
			見守り活動	-				
			支え合い活動	-				

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 蘇我地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方 針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
蘇我地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		9 子育てサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・子育てサロンを年10回実施した。			
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・「コミュニティまつり」でオリーブハウスの販売ブースを設置しており、そこで社協と民児協のPRを実施した。 ・地区部会や町内自治会のイベントでは健常者、障がい者を問わず、誰でも気軽に参加できるようPRに努めた。 ・福祉的配慮を必要とする人をケアする内容を加え改定した避難所運営マニュアルを各訓練で活用するとともに、マニュアルの修正が必要な箇所を改正した。 ・避難所運営委員会では、女性の委員を増やすとともに、障がい者や外国人にも委員としての参加を呼びかけており、一部の避難所運営委員会では障がい者や外国人が委員として参加するようになった。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・3地区の町内自治会が、盆踊り等の各種イベントを開催した。			
	3 社会参加の推進	○	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	【重点取組項目】 施設への訪問活動等を通して、地域の高齢者が福祉参加に参加できる機会の創出を図りたい。	地区部会のボランティア委員会が、月1回、「セントケアホーム蘇我」「グループホームさくら」の2施設で行っている話し相手やイベント手伝い等の活動を予定していたが、新型コロナの影響で中止となったが、今後の訪問活動内容について調整中である。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	地区内福祉施設が、非常時の一時的な避難所になり得るか、また、地域住民の活動拠点として協力を得られるかつながりづくりを検討していく。
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.10と同様)			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続するほか、新たにグループホーム2か所に声掛けをし、ふれあい・いきいきサロンに参加してもらう。	・地区部会が、健康促進に関する講座を実施した。また、R7年度には食育に関する講座を実施予定。 ・いきいきサロンでも、健康体操などのメニューを取り入れている。 ・介護付有料老人ホーム「そんぼの家 蘇我」が、高齢者向けの健康体操教室を予定していたが、新型コロナやインフルエンザの影響で中止となった。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員や町内自治会長が対応している。 ・各町内自治会からの要望や相談については、「地域ケア会議」、「学校運営協議会」や「育成委員会」を通して、情報を共有した。 ・民生委員と地区部会、あんしんケアセンターが連携し、「ふれあい公園」と「蘇我公園」を会場に、気軽に相談できる環境の場を計2回実施した。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・全町内自治会で「防災マップ(危険箇所マップ)」を作成している。 ・年2回社協だよりを発行した。 ・蘇我中学校区の小・中学生が一緒に作成した「蘇我子どもマップ(子どもの目からみた安全マップ)」の内容を更新した。			
6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 ※オレンジフェスティバルの開催については、未定。	・「わくわくキャンパス」に地域の全関係者が加わって実施している。 ・地域の見守りに対する意識の向上を図るため、地域の関係団体と連携して実施した「地域見守り活動～オレンジフェスティバル」には、淑徳大学の学生も参加を予定していたが、新型コロナの影響により中止となった。 ・主任児童委員が中心となり蘇我小学校に週1回出向き、全学年対象に実施している「本の読み聞かせ」を実施した。 ・青少年育成委員会で、地区の歴史散歩を毎年場所を変えて実施し、地域の歴史を理解し、地域を好きになってもらう事業を実施した。 ・蘇我中学校1年生を対象に、「子どもによる子どものための子どもの権利条約」の読書の勧めと感想文募集を継続実施し、全員の感想文が寄せられた。 ・地区部会が、健康促進に関する講座を実施した。また、食育に関する講座は、令和7年度に実施することに決めた。 ・いきいきサロンを実施し、その中で健康体操などのメニューを取り入れた。 ・子ども会では、地域リーダーを養成するための講習会を開催し、受講者の中には成人後も子ども会行事を手伝っている人もいる。				

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 蘇我地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方 針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
蘇我地区部会エリア	7 人にやさしい生 活環境づくり	○	18 防犯対策の推進	【重点取組項目】 防犯パトロールをはじめとした防犯活動を通し て、地域住民が安心して生活できるよう努めた い。	例年、民生委員定例会や地域ケア会議、いきいきサロンで実施している「振り込め詐欺 の対応や防止策」等についての講座を実施し防犯のPRを行った。 育成委員会では、青色パトロールを各町内自治会で週割し、実施した。 第9地区連協では、49町内自治会のうち41町内自治会が防犯パトロール隊を結成し、 パトロールを実施した。 不定期ではあるが、移動交番が蘇我コミュニティセンターや東武ストア蘇我店に開設され ている。 蘇我中学校区の小・中学生が一緒に作成した「子どもの目からみた安全マップ」を広報紙 に掲載している。 地域住民が「こども110番のいえ」に協力している。 PTAが学校の長期休暇に合わせ、防犯パトロールを兼ねて実施している地区内一斉点 検に地区部会が協力した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会の自主防災会でそれぞれ活動した。 ・第9地区連で10か所の避難所で運営組織を立ち上げ、各避難所の特性を考慮したマ ニュアルを作成し、地域の実情に合わせた運営ができるような体制をつくっている。 ・千葉工業高校を会場として、5町会による防災訓練を開催し、訓練には生徒や教員、地 域住民が参加した。 ・地域運営委員会が必要に応じ、防災講座を年2回開催した。 ・地区内4か所の避難所すべてに「避難所運営委員会」が設立されており、各避難所運営 委員会が、九都県市防災訓練の実施日に合わせ、避難所の設備・備品の点検等を行っ た。 ・令和6年度は、千葉工業高校と災害時に備えた炊き出し訓練を予定していたが、新型コ ロナとインフルエンザの影響で中止となった。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 白旗台地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針		
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)					
白旗台地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 (1)地域運営委員会機能も有するコミュニティづくり懇談会で地域課題を解決するため、懇談会テーマおよび活動支援テーマを年初に決め実施する。 (2)コミュニティづくり懇談会や地区部会の主な会には行政やあんしんケアセンター、社協等にも参加してもらい、地域課題解決に向け連携強化を図る。	(1)地域運営委員会機能も有するコミュニティづくり懇談会では、年初の役員会で少し時間をかけて議論し、本年の地域課題を抽出し、コミュニティ懇談会のテーマと活動支援テーマを決め、ほぼ予定通りに実行することができた。 懇談会では、第1回目は8月31日に「令和6年能登半島地震への災害対応」と題して危機管理課の中野課長から説明を受け、能登半島地震の特徴や実態を知り、私たちの防災対策として、追加すべき事も検討することができた。(70名参加) 2回目は11月16日に「町内自治会の加入促進・退会を食い止めるには」と題して市民自治推進課の古谷課長と中央区地域づくり支援課の藤牧課長から話を伺った。町内自治会がかなりきびしい状況にあることを再確認し、対応策について大変難しいが、自分たちにあったものを考えるきっかけとなった。 (83名参加) 3回目は12月2・3日に「菰池公園雨水貯留槽工事現場見学会」を実施し、集中豪雨対策の進捗を把握できた。(合計100名参加) また活動支援テーマとして「各避難所のニーズに合わせた備蓄品の充実」支援と「青色回転灯装備車によるパトロール活動」支援とし、各々計画通り実施することができた。 また新年会を1月18日に開催し、80名の参加で懇親を深めた。 (2)避難所の立上げ・避難訓練等は、千葉市の統一日である8月25日を中心に7か所ある避難所全てで実施し、各避難所で講演会やAED・応急処置訓練、起震車・煙体験等も行われた。 (3)青色回転灯装備車によるパトロール活動については、登校日には毎日3台程度でパトロールすることが出来た。不審者の出没おさえこみは、前年より悪化してしまったが、青色回転灯・プレートの不足状況解消の為、第9地区連協のお金で10セット補充することができた。 (4)避難所備蓄品の充実については、各避難所から希望を取ったが、結局エアーマットとトイレキットを購入し、7か所すべての避難所に市の配布品とは別に配布することができた。	◎	【重点取組項目】 今年度同様			
【人口・世帯数】										
26,231人、13,714世帯										
【町内自治会数】										
41町内自治会										
【高齢化率】										
25.0%										
【地域の特徴】										
○白旗、鵜の森町、今井町、大蔵寺町、花輪町、宮崎、赤井町の一部、千葉寺町の一部、大森町の一部、宮崎町の一部を対象としたエリア。 古くからの農村地帯と昭和50年代に宅地造成された地域がほぼ同じ割合で混在する区域で、一部住宅地では、高齢化率50%を超える町内自治会もある。										
活動事業名										
実績に○印										
いきいきサロン										
子育てサロン										
散歩クラブ										
広報紙										
ボランティア講座										
ふれあい食事サービス										
敬老会										
見守り活動										
支え合い活動										

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 白旗台地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
白旗台地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	5 すべての子どもを地域で育てる	【重点取組項目】 (1)あいさつ運動を継続して近所の子どもと顔見知りになる。又のぼり旗の更新を適時行う。 (2)学校とも連携し、セーフティウォッチャー活動、青色回転灯パトロール活動を継続する。 (3)「こども110番の家」訪問、挨拶、かけ込み訓練の実施について検討する。 (4)蘇我中1年生を対象にした「子どもによる子どものための子どもの権利条約」の読書感想文事業を継続実施する。	(1)あいさつ運動やのぼり旗の交換等は、ほぼ予定どおり実施できた。また休みあけにはあいさつ運動を各地区で実施した。 (2)こども110番の家訪問・駆け込み訓練については進展しなかったが、青色回転灯装備車によるパトロールは1の(3)のとおり実施できた。また、パトロール車への若干の補助は本年も計画通り実施することができた。 (3)更に蘇我中1年生全員を対象にした「子どもによる子どものための子どもの権利条約」の読書感想文事業は本年度も1年生ほぼ全員(233名)の参加が得られ、内容もかなり充実していた。この内容について2月発行の「青少年育成委員会だより」に載せ地域にも周知した。 (4)各小ともにセーフティウォッチャー活動は着実に実施できた。 (5)通学路の安全対策も少しずつ改善できたが、難しい課題の改善要望等も行っているが、まだ実現できていない。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
	2 交流の場と仲間づくり	○	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 (1)地区部会が主催する「ふれあい・いきいきサロン」を健康課等の支援を受けて9回/年程度実施する。 (2)各町内自治会等が主催する「ふれあい・いきいきサロン」の実施を働きかけ支援を行う。 (3)閉じこもりがちな高齢者等に民生委員等と連携し、参加を働きかける。	(1)「健康」をテーマに地区部会主催で計画したいいききサロンは、計画した6会場全てで実施できた。講師は中央保健福祉センター健康課より派遣された保健師、看護師等とあんしんケアセンターで実施した。 (2)各町内自治会主催のものは、コロナ等の感染予防対策を十分に行いながら実施できた。 回数はほぼコロナ前の状況に戻ってきたが、参加人数はまだ以前より少ない状況であった。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
		○	7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 (1)ふれあい散歩クラブ活動等活発化のため、各町内自治会等に働きかけを行う。 (2)ふれあい・いきいきサロンにおいて、介護予防や転倒防止運動を定期的に実施する。 (3)フレイル予防や健康等をテーマとした研修会等を開催する。 (4)スポーツ振興会が主催するスポーツ大会や歴史散歩等の文化活動に、より多くの人が参加するように働きかける。	(1)ふれあい散歩クラブ活動は、比較的多くの町内自治会で実施できた。 (2)いきいきサロンでの健康体操についても、継続実施ができた。 (3)スポーツ振興会主催のものでは、市民体育祭は3小学校区とも再開することができた。各小学校区ともかなり苦労したが実施できた。(宮崎小は雨天で中止) (4)地区部会主催で「認知症予防と対応について」(講師:健康課の保健師、トレーナー)を開催し18名の高齢者が参加。 (5)ふれあい食事サービス事業を継続実施した。(月2回)	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
		○	8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	【重点取組項目】 (1)スポーツ振興会主催のスポーツ大会等を支援し、活発化を図る。 (2)歴史散歩等の文化事業を支援し活発化を図る。 (3)高齢者から子どもまで参加して楽しめる「ふれあいひろば」を1回/年開催する。	(1)蘇我中地区の伝統行事にもなっていた「蘇我の歴史散歩」については、本年度は昔あそび、昔の生活体験・話し、昔の食事の昼食会を実施した。 (2)「放課後子ども教室」は本年度も3小学校で実施した。大森小については前年度よりアフタースクールに切りかわった。 (3)スポーツ振興会の市民体育祭は7の(3)のとおり実施できた。また他のスポーツ大会も概ね従来に近い内容で実施できた。 (4)屋内のスポーツイベントについてもほぼ従来のレベルに戻すことができた。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
		○	9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 (1)地区部会が主催する子育てサロンを2回/月以上開催する。 (2)この中で研修会等も開催し内容の充実を図る。 (3)広報誌等を活用してPR活動を行い参加者の増を図る。	(1)コロナ等の対策をしっかりとりながら計画どおり(4回/月)実施できた。 参加者は若干少なかったが、以前のペースに近づきつつあった。また新興住宅ができた花輪町で子育てサロンを2回実施したが、参加者は数組にとどまった。 (2)赤ちゃんのための防災教室(講師:防災対策課景山氏)も開催し、0～3歳児と保護者等33名が参加した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)障がい者対応としては、避難所訓練や地区部会「ふれあいひろば」等の地域行事への参加を予定していたが、明確な障がい者の参加はごく少数であった。 なお、障がい者施設の森のパンやさんも出店し、賑わいを高めた。 (2)避難所の運営委員については、女性委員の比率が高まり、また障がい者や外国人が委員になって交流を深められるような避難所が増えてきた。 (3)地区部会では障がい者福祉委員会のボランティア講座として「民生委員・児童委員とは」と題し、KT福祉研修所代表松藤氏を講師に迎え、43名が参加して講演会を開催した。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 白旗台地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
白旗台地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)子育てサロンをほぼ計画通りに開催し、高齢者スタッフ等を含め、幅広い世代間交流はできたが、いきいきサロン等との交流は進展しなかった。 (2)地域での世代間交流の場である盆踊りや社協まつりについては、ほぼ再開することができた。 (3)子どもたちや子育て世代が中心となって敬老会を実施し、世代間交流を図る地区もでてきた。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)地区部会をはじめ地域の各種団体の福祉課題の取組において、高齢者の活動は確実に増加し、またその比率も高まってきた。 (2)老人クラブやサークルの福祉施設慰問は、活動団体が十分に復帰しておらず、また福祉施設側の感染症等への心配もあり、ほとんど実施できなかった。 (3)身近な見守り活動や地域支え合い活動においても、支援者の中に高齢者の比率は確実に高まってきた。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)ふれあいひろばや障がい者も参加する避難訓練は実施できた。参加数はふれあいひろばでは増加したが避難訓練では若干少なかった。それでも避難所運営委員に障がい者になるケースもあり、活動の範囲は広がりつつある。 (2)障がい者の方で避難所に不安を持つ方も多く、問い合わせや話し合いの場を持つケースも認められた。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり	○	14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	【重点取組項目】 (1)地区部会が主催する研修会、講演会を各委員会担当のものを含め5回/年程度実施する。 (2)コミュニティづくり懇談会では2～3回/年、コミュニティ懇談会を開催する。 (3)こうした研修会、講演会、懇談会には地域住民にもできるだけ参加を呼びかける。 (4)地区部会主催のふれあいひろばを1回/年開催し、地域住民や小中学生に来場を呼び掛けるとともに、小中学生がスタッフとして参画することを検討する。	(1)地区部会主催の研修会を5回(7/7、8/4、10/21、10/22、1/24)実施できた。 (2)コミュニティづくり懇談会では1.(1)の通り実施し、意見交換会等も活発に行われた。また、懇談会の内容を「コミ懇だより」に掲載し各家庭に回覧した。 (3)各町内自治会等でも、出前講座等で福祉に係る研修会等は実施できたが、まだごく一部に限られていた。 (4)地区部会主催のふれあいひろばでは、子どもたちも多く参加し、かなりのにぎわいを見せた。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
	5 相談体制、情報提供の場づくり	○	15 相談体制・情報提供の充実	【重点取組項目】 (1)地区部会や町内自治会等が開催する諸事案では、スタッフが相談に応じ、必要に応じて専門機関につなぐ等を行う。 (2)民生委員と町内自治会役員は連携を強めて、気軽に相談できる環境づくりを行う。 (3)「中央区ふくし防災ガイド&マップ」の内容の充実と更新を働きかける。	(1)地域住民等から寄せられる相談は、地区部会役員や町内自治会役員・民生委員等が個別または共同で対応してきたが、相談件数、情報提供件数は増加傾向が続いている。 (2)相談や情報提供を受けたもののうち、行政やあんしんケアセンター、社協等へつないだ件数も多くなってきた。また民生委員と町内自治会役員との連携も各所で強まってきた。 (3)「中央区ふくし防災ガイド&マップ」については、更新の時期が来ているので、実施に向けた働きかけを行った。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)部会だよりを年1回発行している。 (2)「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」については、15(3)の通り。 (3)地区部会の地域支え合い活動事業・「きずな隊」の活動については、部会だよりでPRするとともに、町内自治会長が交替した町内自治会にも周知を再度図った(全町内自治会長等がメンバーになっている理事会・研修会で再徹底した)。			予定:前年度同様の取組みを継続する。
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)地区部会の5つの委員会でボランティア講座を各1回開催した。 (2)蘇我中学校1年生を対象に「子どもによる子どものための子どもの権利条約」の読書の勧めと感想文募集を継続実施し、ほぼ全員から感想文が寄せられている。 (3)青少年育成委員会で地区の歴史散歩を、毎年場所を変えて実施し、地域の歴史を理解し地域を好きになってもらう事業を実施してきた。令和6年度は昔あそびや昔の生活体験の事業を実施した。 (4)すべての子どもを地域で育てる事業では、のぼり旗の交換等も行い、休みあけにはあいさつ運動を実施した。 (5)放課後子ども教室は大森小、宮崎小、大蔵寺小全てで実施できた。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 白旗台地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
白旗台地区部会エリア	7 人にやさしい生 活環境づくり	○	18 防犯対策の推進	【重点取組項目】 (1)各町内自治会の防犯パトロール隊については活発に活動してきたが、最近中止した所もあり実態を再調査し活性化を図る。 (2)青色回転灯装着車によるパトロール活動を継続し、不審者出没を抑え込む。 (3)こども110番の家活動について地域や子どもたちに周知し、訪問、挨拶、かけ込み訓練の実施について検討する。 (4)講演会、研修会を開催する。	(1)各町内自治会による防犯パトロールについては、ほぼ例年通り実施できた。但し、各パトロール隊ともメンバーの高齢化、人数減の問題をかかえている。 (2)青色回転灯装着車によるパトロール活動については、前年度までと同様登校日には毎日3台ペースで実施できた。不審者の出没の抑え込みでは前年度より悪化してしまったが、内容的には特に心配すべきものを0件にすることができた。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			19 防災体制の充実	【重点取組項目】 (1)地域の全避難所で避難訓練を実施する。 (2)防災会未設置の町内自治会に、設置の働きかけを行い防災訓練も実施する。 (3)避難所の備蓄品の充実を図る。 (4)防災に関する研修会、講演会を開催する。	(1)避難所の立上げ等の訓練は、8/25の市の訓練日を中心に一般市民の避難訓練を含めて実施できた。更に多くの避難所ではAED・応急処置訓練、消火訓練、地震等の体験、講演会等を避難所ごとに選定して実施した。 (2)各避難所のマニュアルの見直しについては、避難所ごとに必要に応じた見直し等を行った。 (3)地域7か所の避難所全てにエアーマット10セット、トイレキットを市の支給品とは別にコミコンで配布し備蓄品の充実を図った。 (4)地区部会では児童母子福祉委員会のボランティア講座として「赤ちゃんのための防災教室」を開催し、参考になる多くの話を聞き理解を深めた。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 生浜地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針				
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)							
生浜地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 「生浜地区地域運営委員会」の4部会、「青少年部会」、「高齢者・要支援者部会」、「防災部会」、「スポーツ部会」が連携を図りつつ、活動を実施していきたい。	・「生浜地区地域運営委員会」の4つの部会(「青少年部会」「高齢者・要支援者部会」「防災部会」「スポーツ部会」)が、それぞれ活動を実施した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	地域運営委員会のあり方について協議していく				
【人口・世帯数】 26,610人、13,334世帯												
【町内自治会数】 12町内自治会		○	2 支え合い活動の仕組みづくり	【重点取組項目】 地域住民の生活課題の解決を図れるよう、支え合い活動の仕組みづくりについての協議を再開していきたい。	・地区部会が支え合い活動の実施に向け、8月に民生委員、福祉活動推進員を対象にグループワークを実施した。 ・1月より、地区部会が運営する5か所のいきいきサロンの参加者に対し、ゴミ出しについてのアンケートを実施するとともに、支援予定者の名簿を作成した。	◎	【重点取組項目】 地区部会が、ゴミ出し支援の具体化に向け、検討を行う。					
【高齢化率】 24.3%												
【地域の特徴】 ○村田町、浜野町、塩田町、生実町、南生実町を対象としたエリア。 千葉市街地の中心よりやや外れ、南は市原市に接し、西には京葉工業地域を有している。古墳や神社仏閣も多く、古くからの歴史と伝統が引き継がれている地域でもある。												
		○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 見守り活動を通して、災害発生時においても円滑な避難ができるよう地域づくりに努めるとともに、活動を町内自治会に広げていきたい。	・民生委員が中心となり、見守り活動を実施した。 ・一部の町内自治会では、見守り活動を実施した。	◎	【重点取組項目】 見守り活動を通して、災害発生時においても円滑な避難ができるよう地域づくりに努めるとともに、活動を他の町内自治会にも広げていきたい。					
活動事業名			実績に○印									
いきいきサロン			○									
子育てサロン			○	○	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援				【重点取組項目】 特に支援を必要とする地域住民が災害発生時においても円滑な避難ができるよう、防災部会で協議を行っていきたい。	・防災部会や避難所運営委員会が自然災害発生時の合同防災訓練を実施した。 ・避難所運営委員会が「九都県市合同防災訓練」の実施日にあわせて、避難所運営訓練と備品の点検を実施した。 ・地区部会が、高齢者を対象とした防災講習会を10月に開催した。 ・防災部会が、防災講座を12月に実施した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様
散歩クラブ	-											
広報紙	○											
ボランティア講座	○											
ふれあい食事サービス	-	○	5 すべての子どもを地域で育てる	【重点取組項目】 生浜地区の防犯パトロールやセーフティウォッチャーによる登下校時の児童の見守りを通して、子どもたちが地域の中で安全に過ごせるよう環境づくりに努めたい。	・青少年部会や町内自治会では、防犯パトロールを実施した。 ・学校が主体となって実施しているセーフティウォッチャーに地域住民が協力し、登下校時の児童の見守りに取り組んだ。 ・青少年部会が、食糧支援の必要性や食事の重要性(食育)について考えるイベント「SDGs(すげえ 大事な 元気な 食事)2024」を生浜小学校で開催し、多くの子どもたちが参加した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	セーフティウォッチャーの担い手不足と後継者育成が急務				
敬老会	○											
見守り活動	○											
支え合い活動	○	○	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施を通して、高齢者が身近なところで集い、交流する場所の機会の充実を図り、閉じこもり防止や仲間づくり、社会参加を図る機会を設け、フレイル予防に努めたい。	・地区部会が「いきいきサロン」を5か所、「ふれあい喫茶」を1か所でそれぞれ実施した。 ・老人クラブでは、グラウンドゴルフや輪投げ、ダーツ等の行事を開催した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	活動継続のためのスタッフ育成が課題				
			7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 いきいき健康体操教室を実施を通して、地域の高齢者の閉じこもり防止や仲間づくり、健康の維持増進を図る機会を設け、介護やフレイルの予防に努めたい。	・地区部会が「いきいき健康体操教室」を5か所で実施した。 ・一部の町内自治会では、高齢者向けの太極拳体操やラジオ体操を実施した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様					
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	【重点取組項目】 「生浜地区体育祭」や育成委員会の「子どもふれあい祭り」の実施を通して、世代を超えたスポーツ活動・文化活動による交流の場を設け、子どもたちの健全育成を図りたい。	・スポーツ部会が11月に「生浜地区体育祭」を開催する予定であったが、荒天の影響によりやむなく中止となった。 ・育成委員会が11月に「子どもふれあい祭り」を開催し、その中で地区部会やPTAなどが体験コーナーのブースを設けた。 ・スポーツ振興会が、ポッチャ大会やバレーボール大会などのイベントを開催した。				◎	【重点取組項目】 今年度同様		
			9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 「子育てサロン」の実施等を通して、子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充できるよう努めたい。	・地区部会が「子育てサロン」を3か所で実施した。 ・地区部会が幼稚園、保育所、保育園との情報交換会を実施した。 ・地区部会が、一部の保育所との交流会を実施した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様					
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	【重点取組項目】 障害者福祉施設での支援活動や障がいに関する学習の機会の場の提供を通して、地域住民の障がい者に対する意識の高揚を図れるよう努めたい。	・地区部会の障害者委員会が中心となり、障害者福祉施設「こころふる浜野」での支援活動を行った。 ・地区部会が生浜中学校1年生を対象に、福祉施設と協力した車いす体験やポッチャ体験を行い、障がいについて学習する機会を設けた。				◎	【重点取組項目】 今年度同様		
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会が、体育祭や盆踊り、お祭りなどの各種地域イベントを実施した。							

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 生浜地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
生浜地区部会エリア	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、地域内の福祉施設でのボランティア活動を実施した。 ・地区部会や町内自治会など、地域団体の役員になっている高齢者は、地域行事でスタッフとして活動している。 ・学校が主体となって実施している「セーフティウォッチャー」に地域の高齢者が協力し、登下校時の児童の見守りに取り組んでいる。			
				13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会が実施している地域行事(盆踊り)に、障がい者福祉施設の利用者が参加した。		
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・生浜中学校1年生を対象に、福祉施設と協力した車いす体験やポッチャ体験を行い、障がいについて学習する機会を設けた。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が運営している「ふれあい・いきいきサロン」や「子育てサロン」の中で、スタッフが個別に相談に応じた。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域福祉に関する情報を住民に提供する「地区部会だより」を年3回発行した。カラー印刷にし、紙面の充実を図った。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会で実施している「敬老のつどい」に中学生がボランティアとして参加し、中学生との「福祉のこころ」を育む機会となった。 ・生浜中学校1年生を対象に、福祉施設と協力した車いす体験やポッチャ体験を行い、障がいについて学習する機会を設けた。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・防犯パトロールを組織化している町内自治会では、定期的にパトロールを実施した。 ・青少年部会では防犯パトロールを実施した。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・防災部会や避難所運営委員会が自然災害発生時の合同防災訓練を実施した。 ・避難所運営委員会が「九都県市合同防災訓練」の実施日にあわせて、避難所運営訓練と備品の点検を実施した。 ・地区部会が、高齢者を対象とした防災講習会を10月に開催した。 ・防災部会が、防災講座を12月に実施した。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 松波地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針		
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)					
松波地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・民児協、町会長やスポーツ振興会など地区部会の役員となっており、横の連携はとれている。 ・地域の大きな行事の際は、松波町会、第114地区民児協、商工振興会、子ども会、シニアクラブを含め、地域の関係団体が集まって打ち合わせを行っている。					
【人口・世帯数】 4,948人、2,959世帯				2 支え合い活動の仕組みづくり	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・松波会館が地域の拠点となっており、10:00～15:00に事務ボランティアが常駐し対応している。 ・町会有志で「お助けマシクラブ」として草取り、剪定、ゴミだし作業のサービスをしている。				
【町内自治会数】 1町内自治会					3 見守り体制をつくる	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・「松波見守り隊」を発足し活動しているが、今後見直しを行い、実情にあった活動を検討中である。			
【高齢化率】 22.7%						4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・町会の防犯防災部が中心となり年末の夜警を実施した。 ・毎年、松波自主防災会が主催で「防災訓練」を実施し、地区部会、消防団、民生委員・児童委員が協力して訓練を実施している。 ・千葉商業高校の避難所運営委員会が行う避難所開設訓練に、地区部会として協力している。		
【地域の特徴】 ○松波を対象としたエリア。 JR西千葉駅の東側に位置し、戸建て住宅がメインとなっている。 エリア内に高校(千葉商業高校)があるほか、隣接するエリアに複数の大学もある文教地区となっている。			5 すべての子どもを地域で育てる	予定：前年度同様の取組みを継続する。		・毎年、町会主催「餅つき大会」や弥生小スポーツ振興会主催「弥生小学校地区体育祭」に地区部会が協力事業として活動している。 ・民生委員や地区部会役員が中心となり毎朝、登校時に2か所で声かけを実施している(弥生小セーフティウォッチャー)。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。 ・地区部会と第114地区民児協、松波町会が連携して、多世代交流の輪が広がる「地域食堂 松波のちゃぶ台」を月2回実施している。実施にあたっては、千葉経済学園と近隣高校の学生・生徒も一緒に活動している。				
活動事業名					実績に○印					
いきいきサロン					○					
子育てサロン					○					
散歩クラブ					○					
広報紙					○					
ボランティア講座	○									
ふれあい食事サービス	-									
敬老会	○									
見守り活動	○									
支え合い活動	○									
	2 交流の場と仲間づくり		6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	いきいきサロンは、グラウンドゴルフ(雨天及び学校の長期休暇期間は休み)を松波公園で週2回開催するとともに、松波会館で脳トレ会、ウクレレ会を月2回、卓球会を週1回開催し、高齢者の集える場を設け、仲間づくりや健康維持を図っている。					
			7 地域での健康づくり支援の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が「散歩クラブ」を月1回実施している。地区部会役員の中に看護師が3名いるため、開催時には血圧測定を行い、健康と安全管理に注意している。 ・弥生小スポーツ振興会がグラウンド・ゴルフを定期的に開催している。 ・地区部会が主催となり、多世代間交流の場「ドッキングプレイス」の中で、ポッチャと輪投げを実施し、30名程度の方が参加した。					
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地域で開催している「夏祭り」で地区部会として模擬店を出店し、多くの子どもと触れ合っている。 ・毎年、町会主催「餅つき大会」や弥生小スポーツ振興会主催「弥生小学校区体育祭」に地区部会が協力事業として活動している。 ・地区部会が主催となり、多世代間交流の場「ドッキングプレイス」の中で、ポッチャと輪投げを実施した。幼児から高齢者まで、30名程度の方が参加した。					
			9 子育てサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	地区部会が、子育て中の親子を対象に、月2回、工作、季節のイベントや、中央区健康課の保健師、栄養士、歯科衛生士による指導、スタッフ(助産師)による育児相談等を内容とした子育てサロンを実施し、子育て親子の仲間づくりに取り組んだ。					
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・年末に、80歳以上の独居高齢者を対象としたプレゼント用に、オリーブハウスでクッキー(100個)を購入し、販売促進に協力している。					
		○	11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	【重点取組項目】 地域食堂「松波のちゃぶ台」や「ドッキングプレイス」の実施などを通して、地域住民が世代の枠を超えて交流できる機会の創出を図りたい。	・地区部会が主催となり、多世代間交流の場「ドッキングプレイス」の中で、ポッチャと輪投げを実施し、30名程度の方が参加した。 ・地区部会と第114地区民児協、松波町会が連携して、多世代交流の輪が広がる「地域食堂 松波のちゃぶ台」を月2回実施している。実施にあたっては、千葉経済大学や千葉経済大学附属高校の学生・生徒も一緒に活動している。	◎	【重点取組項目】 今年度同様			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・ふれあい事業や敬老会、夏祭り、防災訓練など、高齢者が深くかわり活動する機会を提供している。					
13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進			予定：前年度同様の取組みを継続する。	・年末に、80歳以上の独居高齢者を対象としたプレゼント用に、オリーブハウスでクッキー(100個)を購入し、販売促進に協力している。						

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 松波地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
松波地区部会エリア	4 地域の福祉力 向上、担い手づく り		14 地域福祉活動に参加する機 会の提供や地域福祉に関す る講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。 また、あんしんケアセンターと障害者基幹相談支援 センター主催の精神疾患についての勉強会に地区 部会が協力する。	・松波町会が主催となり、11月にロコモ予防教室を実施した。			
	5 相談体制、情 報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・松波会館が地域の拠点となっており、10:00～15:00に事務ボランティアが常駐しているた め、内容により対応可能である。 ・相談があれば、地区部会もしくは町会を通して、可能であれば対応している。 ・民生委員・児童委員も個別で相談に対応している。 ・ホームページにより、地域情報を発信している。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央 区ふくし・防災ガイド&マッ プ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	地区部会が、地域住民を対象に、地区部会活動の紹介と啓発、会員の募集状況等の報 告、毎月の地区部会事業の日程の周知やボランティア募集を図るため、社協だよりを、年 4回発行している。また、毎月の予定を町内掲示板を使い周知している。 ・千葉市松波町会のホームページのリンクより、「社協松波地区部会」、「お助けマンクラブ」 ほか諸団体のページに飛ぶことが出来るようしており、地域情報発信の充実を図ってい る。			
	6 福祉教育の推 進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	敬老会に、千葉商業高校の吹奏楽部が参加し、福祉の心を育む機会を設けた。 町会の夏祭りには、子どもたち(クラーク国際高校の生徒)が山車を一緒にひき、地域住 民との交流を図ることができた。			
	7 人にやさしい生 活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・有志が月2回、夜間パトロールを行っている。 ・移動交番が月1～2回、松波会館駐車場で活動しており、町会、民生委員・児童委員、地 区部会と情報交換している。警察から防犯に関する注意喚起の情報提供をいただしてい る。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。 ・民生委員や地区部会役員が中心となり毎朝、登校時に2か所で声かけを実施している (弥生小セーフティウォッチャー)。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 松ヶ丘地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
松ヶ丘地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・「松ヶ丘中学校地区地域運営委員会」が設立され、現在、地域の47団体が参加している。 本委員会に4つの部会(円卓会議、地域問題検討部会、広報部会、ふるさとまつり部会。なお、ひだまり運営部会は平成28年度から独立した。)を設け、ホームページによる地域行事等の情報発信、ふるさとまつりの開催など、諸事業に取り組むとともに、円卓会議を月1回開催し、構成団体が、地区の課題や情報を共有した。 特に重要な地域課題については、地域問題検討部会(年4回)において、地区の将来像や地域の実情に合った活動について話し合い、継続的、計画的な住民同士の「助けあい・支えあい」による地域運営に取り組んだ。 地域の各団体の関係が密になり、地域の様々なイベントにおいて協力体制が整ってきており、効果が表れている。 ・地区部会の会議や活動を通じて関係団体との連携を図っている。			
【人口・世帯数】 11,728人、5,885世帯 【町内自治会数】 36町内自治会 【高齢化率】 28.0% 【地域の特徴】 ○松ヶ丘町の一部、仁戸名町の一部、星久喜町の一部、大森町の一部、宮崎町の一部を対象としたエリア。 戦後、京葉臨海工業地帯造成発展に伴い、全国から人が流入し人口が急増。以前は川鉄及びその関連会社に勤める住民が中心であったが、近年はその傾向は減少。平成4年度、千葉急行(現京成電鉄)の大森台駅の開業によりJR千葉駅や東京方面への交通の便が改善され、地区の活性化に役立っている。			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、高齢者等を対象に、雑草取り、刈り込み、立木の一部伐採作業等をお手伝いし、ひとり暮らし高齢者等の生活の一部を支援した。 ・地区部会スタッフを中心とした「ひだまり運営委員会」が、住民が気軽に立ち寄れる地域の交流の場を運営した。 ・地区部会が、ふれあい食事サービスを年3回実施した。(1回あたり210食) ・地域住民が気軽に集まり、誰もが参加できる集い・交流の場を設けた。			
活動事業名 いきいきサロン 子育てサロン 散歩クラブ 広報紙 ボランティア講座 ふれあい食事サービス 敬老会 見守り活動 支え合い活動			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 ひとり暮らし高齢者等に対する見守りを通して、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。	・地区部会が、ひとり暮らし高齢者や障がいのある方などのうち、見守りを希望する方(手上げ方式)及び見守りが必要と思われる方に対し、目配りや電話による安否確認を実施し、継続した見守りに取り組んだ。 また、町内自治会や協力員に対し研修会を実施し、見守り活動に対する理解を深めることができた。 地区部会定例理事会を開催し、毎月活動報告を行っている。	◎	【重点取組項目】 今年度同様 16連協の理事が委員として協力することとなった。	
			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区内の避難所4か所すべてに「避難所運営委員会」が設置されており、避難所運営委員会ごとに訓練を実施した。 ・松ヶ丘地区独自の「自主防災・防犯の会」が、地区全体の防災研修会や防災訓練を年2回以上実施した。 ・各町内自治会に自主防災会が組織されており、自主防災会ごとに年2回以上の訓練を実施した。			
			5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・セーフティウォッチャーは、毎日の下校時、町内自治会長を中心とした各町会(各町会5人程度)が協力している。 ・地域の有志が、登校日の朝、あいさつ運動を実施した。 ・地区部会のネットワーク委員会が、月・水・金曜日の下校時、青色パトロール車1台で、地区内(主に裏通り)を巡回し、声かけを主体にパトロールしている。また、自主防災・防犯の会も青色パトロール車でパトロールを行っており、地区全体で10台の車両でパトロールを実施した。 ・松ヶ丘小学校、仁戸名小学校の要請により、「こども110番のいえ」に地域の方(約180件)が協力している。 ・PTA、地域と小学校が連携し、5年生が里山事業(田植え～稲刈り、竹の子掘り等)を実施した。 ・育成委員会と各種団体が連携し、「子どもの広場(年2回)」や「子ども夏まつり」、「新春マラソン大会」を実施し、また、松ヶ丘小・仁戸名小・松ヶ丘中・淑徳大学で昔あそびを教えた。 ・育成委員会が中心となり、「子ども食堂」を月1回実施した。 ・地区部会と淑徳大学看護栄養学部の連携により、活動拠点「ひだまり」で『どこでもこどもカフェ』を開設し、放課後の児童の健全育成や居場所の提供を図った。			
	2 交流の場と仲間づくり		6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続するほか、新たに「昭和熟女のおしゃべりクラブ」を月1回、スマホ教室を月2回実施する。	・ひだまり運営委員会が地域交流の拠点として「ひだまり」を運営し、月～土曜日、役員が当番制で常駐している。誰もがいつでも立ち寄り、地域住民の交流の場となっている。 ・いきいきサロン(高齢者福祉委員会)を年6回、3会場で開催した。また、活動拠点「ひだまり」にて『ゆうあいひろば』を月1回開催した。年々参加者が増加している。 ・地区部会が活動拠点「ひだまり」で、『カラオケサロン(毎月第2・第4火曜日)』を開催し、地域住民の交流の機会を提供した。 ・地区部会がひだまりで毎月1回、昭和熟女の会(サロン)を開催し、交流を図った。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 松ヶ丘地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針	
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)				
松ヶ丘地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 「いきいき散歩クラブ」や「シニアリーダー体操」の実施などを通して、地域高齢者の閉じこもり防止や仲間づくり及び健康の維持増進を図る機会を設け、介護・フレイルの予防に努めたい。 ポツチャを月1回実施する。	地区部会が「いきいきサロン」や高齢者向けの集いの場「ゆうあいひろば」のメニューとして淑徳大学看護栄養学部の協力を得て、介護予防やひきこもり防止の講話(相談含む)を実施した。 また、「いきいき散歩クラブ(高齢者福祉委員会)」を月2回開催した。 さらに、地区部会が千葉市のシニアリーダー養成講座修了者と協力し、週1回、松ヶ丘公民館、恵光園、仁戸名町内自治会館、第3公園、星久喜公民館でシニアリーダー体操を実施し、高齢者の健康維持・増進を図った。 あんしんケアセンターでは、さくら会館で健康体操を実施した。 各町内自治会では、有志によるグラウンドゴルフは盛んに行われ、大会を年3回開催している他、スポーツ振興会が年2回、大会を開催した。 「淑徳大学看護栄養学部」と「ひだまり運営委員会」が連携し、「淑徳オレンジカフェ」を月1回開催した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様		
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・PTA、地域と小学校が連携し、5年生が里山事業(田植え～稲刈り、竹の子掘り等)を実施した。 ・育成委員会と各種団体が連携し、「子どもの広場(年2回)」や「子ども夏まつり」、「新春マラソン大会」を実施し、また、松ヶ丘小・仁戸名小・松ヶ丘中・淑徳大学で昔あそびを教えている。				
			9 子育てサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・子育てサロン(児童母子福祉委員会)を年1回実施した。新型コロナウイルス感染症が完全に収束していないため、今年度は実施を控えた。				
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が町内自治会関係者等を対象に、車椅子講習会を実施した。				
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会スタッフを中心とした「ひだまり運営委員会」が、月曜日から土曜日の間、役員が当番制で開設し、誰もがいつでも立ち寄れる地域住民の交流の場を提供した。高齢者の交流を中心に、小、中学生の自習や友人との交流の場として利用されている。地域の各種団体の会議やイベント、親睦の場としても使用されており、他地区からの見学も増えている。 ・地区部会が毎週金曜日の17:00～20:00に「ひだまり」で「大人の時間」を実施し、地域住民の交流の場を提供している。地域のことについて意見交換を行い、意思疎通を図っている。 ・地域運営委員会が「ふるさとまつり」を実施し、誰でも参加できるイベントで交流を図った。				
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員が中心となり、都苑への施設見学や手伝いを行った。 ・地区部会が主体となり、地域の高齢者が「お助け隊」のボランティアとして活動を行っている。また、地域行事には、高齢者がボランティアとして参加している。				
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.10と同様)				
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続するが認知症サポーター研修については、今年度から地区部会、あんしんケアセンター、松ヶ丘公民館の三者の共催により実施する予定。	・年2回、ボランティア委員会で講座を実施した。 ・地区部会が淑徳大学看護栄養学部と連携し、「ひだまり」で月2回(第1・第3月曜日)、健康や栄養相談を実施した。 ・地区部会と淑徳大学看護栄養学部の連携で、月1回開催している「淑徳オレンジカフェ」では、認知症に関する理解の普及に努めた。 ・地区部会があんしんケアセンターと協力して、認知症サポーター研修を松ヶ丘公民館で実施した。				
	5 相談体制、情報提供の場づくり	○	15 相談体制・情報提供の充実	【重点取組項目】 「ひだまり」における相談できる環境づくりや地域の情報発信などを通して、福祉に関して気軽に相談に乗るとともに地域住民がより適切に情報入手する機会を設け、地域での孤立化の帽子を図れるよう努めたい。	・松ヶ丘中学校区地域運営委員会が毎月開催している「円卓会議」で各団体のイベントや活動の情報収集及びPRに努め、運用するホームページにより、地域のイベントや出来事を掲載するとともに、「ひだまり」にサークル紹介や各団体のチラシを掲載、配布して情報発信に努めた。 ・地区部会が広報誌を年3回発行し、全戸配布した。 ・「ひだまり」に地区部会役員が当番制で常駐し、問い合わせに対応し、その場で回答できないものは関係団体から回答する体制を整え、誰でも気軽に出入りでき、多世代の方が相談できる環境づくりに取り組んだ。 ・地区部会役員が毎週金曜日の17:00～20:00に「ひだまり」で「大人の時間」を実施し、地域住民の交流の場を提供している中で、悩みなどの相談に応じた。	◎	【重点取組項目】 今年度同様		

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 松ヶ丘地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
松ヶ丘地区部会エリア	5 相談体制、情報提供の場づくり		16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が年3回社協だよりを発行し、地域の協力者を通じて全戸配布した。 ・「ひだまり」にも、市の便利帳や各種情報を掲載している冊子を置いている。 ・松ヶ丘中学校地区地域運営委員会が運用するホームページにより地域のイベントや出来事を掲載し、情報発信に努めた。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・育成委員会がジュニアボランティア隊を結成し、各イベントの手伝いを行った。 ・地区部会が、淑徳大学看護栄養学部 of 学生と高齢者との意見交換会を実施した。 ・地区部会が、淑徳大学看護栄養学部 of 学生に、看護実習などの際、高齢者とのコミュニケーション手段として役立ててもらうため、年1～2回、昔遊び等を教えた。 ・松ヶ丘小学校が「まち探検」を行っており、地域の方が質問に答える等、協力した。 ・年2回、ボランティア委員会で講座を実施した。 ・淑徳大学看護栄養学部と連携し、「ひだまり」で月2回、健康や栄養相談を実施した。 ・月1回開催している「淑徳オレンジカフェ」では、認知症に関する理解の普及に努めた。 ・あんしんケアセンターと協力して、認知症サポーター研修を松ヶ丘公民館で実施した。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・自主防災会が、青色パトロール車(10台)で毎週土曜日に巡回活動を行った。 ・地区部会のネットワーク委員会が月・水・金曜日の下校時、青色パトロール車1台で、地区内(主に裏通り)を巡回し、声かけを主体にパトロールした。 ・育成委員会が「こども110番のいえ」にも地域の方(約180件)に協力いただいている。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 川戸地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
川戸地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 川戸地区の各種団体の強みを活かし、地域課題の解決に向けて連携を図りながら、各種事業の実施に努めたい。	例年、地区部会が主催する行事や活動は、今年度においてもコミュニティ懇談会、第21地区連絡協議会、民生委員・児童委員協議会、スポーツ振興会、PTA、子ども会など、各種地域の関係団体の協力を得て実施している。 ・連協主催のいきいき活動(バス研修日帰り旅行)を4月に実施した。 ・地区部会で高齢者等のちょっとした困りごとの手伝いをする「お助け隊」を20件以上実施した。 ・地区部会で地域の高齢者や障がいのある方を対象とした見守り隊活動を実施した。 ・地区部会でふれあい食事サービスを川戸公民館で5月と10月に実施した。 ・地区部会主催で敬老会を「淑徳大学第2キャンパス」で開催した。 ・公民館運営委員会と老人クラブの共催により福祉バザーを川戸公民館で10月に開催した。 ・コミ懇主催の川戸地区夏まつり(8月)に協力した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
【人口・世帯数】 7,128人、3,569世帯			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が高齢者や障がいのある方を対象に、簡易な草取り、話し相手等、日常生活のちょっとした困りごと等の手伝いをする「お助け隊」を継続しており、令和6年度は20件以上実施した(R7年度は休止)			活動者の高齢化と資機材の老朽化など活動継続が困難
【町内自治会数】 13町内自治会			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 公的機関やあんしんケアセンターと連携した見守り活動を通して、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。 見守り報告会については、9月、3月の実施を予定している。	地区部会が、高齢者や障がいのある方など支援が必要な方を対象に、日常的な目配りや声掛けによる安否確認等を行い、安心して地域で暮らせるよう、毎日、または定期的に見守り活動を実施した。また、見守り報告会については、9月と3月に実施した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
【高齢化率】 32.0%		○	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区内の3か所の避難所すべてに避難所運営委員会があり、避難訓練を実施した(令和6年度は雨天中止の地区あり) ・町内自治会単位で防犯パトロールや防災訓練を実施した。 ・地区部会の災害時の支援としては、火災や災害の被害にあった方に対し、見舞金制度を設けているが、令和6年度は見舞金の支払いはなかった。			
【地域の特徴】 ○川戸町、仁戸名町の一部、赤井町の一部、平山町(緑区)の一部を対象としたエリア。 千葉市の中央台地に位置し、大網街道を境に東側は旧川戸の地域で、西側は高層住宅の立ち並ぶ地域である。周辺には、千葉南高校、千葉県がんセンター、千葉東病院などの公的機関が存在するが、千葉市の公的機関が少なく、川戸公民館が唯一のコミュニティの場である。また、高齢化率については、30%を超え高くなっている地域である。			5 すべての子どもを地域で育てる	予定：前年度同様の取組みを継続する。 清掃活動は予備日を設けて悪天候時に対応する(9月予定)。敬老会も同様に計画中。	・育成委員会が実施している年2回の川戸中学校区内パトロールに地区部会が協力した。 ・例年9月に川戸小学校、川戸中学校、川戸保育所地区の清掃活動をPTAが実施している。 ・子育てサロン「もーもークラブ」を年9回実施した。 ・敬老会には、千葉南高校、川戸中学校、川戸小学校の児童・生徒や地域の各種団体が参加し交流を図っている。 ・地域住民がセーフティウォッチャーに協力した。 ・放課後子ども教室に地域住民が協力した。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。			
活動事業名	実績に○印		6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施を通して、地域の高齢者の閉じこもり防止や仲間づくり、社会参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。 いきいきサロンは、年12回の実施を予定している。	地区部会が、いきいきサロン「ひまわり会」を年12回実施した。 コロナ禍で閉じこもりの高齢者に外出・交流を図る目的で、回数を増やすとともに、会員を増やすことができた。 いきいきサロン「ひまわり会」では、スポーツ振興会の協力でポッチャを取り入れ、参加者の運動機能の向上を図った。	◎	【重点取組項目】 今年度同様 ＋サロン活動のメニュー充実を図る	
いきいきサロン	○		7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 ラジオ体操や散歩活動、いきいきサロンにおけるポッチャなどを通して、地域の高齢者の閉じこもり防止や健康の維持増進を図る機会を設け、介護・フレイルの予防に努めたい。	スポーツ振興会が毎週日曜日にラジオ体操と散歩を実施した。 また、いきいきサロン「ひまわり会」では、スポーツ振興会の協力でポッチャを取り入れ、高齢者の健康維持、運動機能の増進を図った。	◎	【重点取組項目】 今年度同様 ＋ひまわり会に体操インストラクターが参加し運動機能強化を図る	
子育てサロン	○		8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。 盆踊りは名称を「夏祭」に変更する。	・地域の団体が「盆踊り大会(コミュニティづくり懇談会)」「運動会(スポーツ振興会)」「菊見会(連協)」「子ども会バザー(子ども会)」「正月の凧作り・凧揚げ(ふるさとづくりの会)」等を実施し、地区部会が協力している。			
散歩クラブ	-		9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 子育てサロンの実施を通して、地域の子育て中の親子の孤立化を防止し、仲間づくりの場を設けるよう努めたい。 子育てサロンについては年9回の実施を予定している。	地区部会が、子育てサロン「もーもークラブ」を年9回実施し、子育て支援を図った。	◎	【重点取組項目】 今年度同様 ＋社協と連協とで高齢者と児童の交流を図る	
広報紙	○		10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会、民児協が障害者グループホーム「りべるたす」とは、家庭ごみ廃棄、買い物支援などで交流を図っている。			
ボランティア講座	○							
ふれあい食事サービス	○							
敬老会	○							
見守り活動	○							
支え合い活動	○							

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 川戸地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
川戸地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	【重点取組項目】 敬老会や各種行事の開催などを通して、地域住民が世代の枠を超えて交流できる機会を創出した。	・敬老会は、13町内自治会合同で実施した。川戸小・中学校の参加はなかったものの、地区の太鼓祭りや千葉南高校吹奏楽部の演奏、フラダンスや健康体操、歌唱などを実施した。 ・福祉バザーを実施した。 ・各団体が、盆踊り大会(コミュニティづくり懇談会)、スポーツ祭り(運動会)(スポーツ振興会)を実施した。また、公民館での餅つきは規模を縮小し、日程を短縮した上で実施した。 ・地域の高齢者が川戸保育園の七夕まつりに協力した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様 ※敬老会の記述は削除	
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・敬老会を実施し、会の中で地域の方が一体となって盛り上げている。 ・地区部会や町内自治会等、地域団体の役員になっている高齢者は、地域行事でスタッフとして活動した。 ・地区部会の見守り隊やお助け隊の協力員として高齢者に参加いただき、その都度課題に対応していただいた。 ・地区部会では満100歳の方に祝い金を渡しているが、令和6年度も対象者がいなかった。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.10と同様)			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。 また、介護教室と同時期に公民館主催事業の食の健康教室で協働実施(11/26実施予定)。	・地区部会と公民館共催で介護教室(運動に関すること)を11月に実施した(講師は中央区健康課)			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。 見守り報告会において、あんしんケアセンター松ヶ丘より情報提供の予定。	・町内自治会長や民生委員が個別の相談対応を行っている。 ・各町内自治会及び民児協より地区部会役員として選任されているため、地区部会の状況や対応内容等、情報がスムーズに流れるよう心掛けている。 ・地区部会主催の講座で相続に関する勉強会を企画実施した。			
		○	16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	【重点取組項目】 広報誌の発行についての検討などを通して、地域での孤立化の解消を図れるよう努めたい。	地区部会が、地域福祉に関する情報を住民に提供するため、広報紙を年1回発行していた。コロナ禍においても各種行事は行ったものの、今年度も広報紙の発行は見合わせた。また、必要に応じて情報提供やマップの配布等を行った。	○	【重点取組項目】 情報提供の方法などについて検討を通して、地域での孤立化の解消を図れるよう努めたい。	
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 なお、PTAはコミ懇へ変更。 福祉講座も計画している。	・地区部会が開催する敬老会では千葉南高校が高齢者と交流する機会を設けた。 ・PTA・スポーツ振興会主催の餅つきや運動会、地域のサークルと子育てサロン(もーもークラブ)との菊見会、川戸保育園の七夕まつり、中学校会場の盆踊り等、地域行事を通じて、高齢者と児童の交流を図っている。 ・放課後子ども教室に地域住民が協力している。 ・地区部会が、福祉に関する講座を10月に実施した。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の見守り隊やお助け隊の協力員から、地域の犯罪被害に関する情報が届くことも多い。 ・町内自治会単位で防犯パトロールや防災訓練を実施した。 ・学校とPTAが、夏休み、冬休み前の年2回、防犯パトロールを実施した。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会単位で防犯パトロールや防災訓練を実施した。 ・地区内の3か所の避難所すべてに避難所運営委員会があり、雨天中止の地区を除いて避難訓練を実施した。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 星久喜地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
星久喜地区部会エリア	1 身近なコミュニ ティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協 議体等の設置・推進	【重点取組項目】 地域運営委員会など、地域内の各種団体のそれ ぞれの強みを活かしながら、地域団体事業日程調 整を行い理事会を開催することや、地域運営委員 会のホームページを更新し情報発信を行うなど、地 域課題の解決に向けて引き続き連携の強化を図り たい。	・地域運営委員会では、地域団体の事業の日程調整を行い、理事会を開催し、共通理解、 連携強化に努めた。 ・地域運営委員会のホームページを随時更新し、情報発信に努めた。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・主に民生委員は個別の相談対応に当たっている。また、あんしんケアセンターなどにも相 談している。			
			3 見守り体制をつくる	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・23町内自治会で、高齢者などに対し、各町内自治会の班長が、日常的な目配り、心配り による安否確認を行い、継続して見守り活動を行っている。 各班長に「見守り協力員の証」を配布し、何か気づいたことがあれば、民生委員や町内自 治会長に連絡する体制を整えている。			
			4 災害時に支援を必要とする 人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区内にある3か所の避難所全てに避難所運営委員会が設立されており、避難所ごとに 訓練を実施した。また、各町内自治会の班長が見守り協力員になっており、日常の見守り 活動を災害時にも生かす仕組みとしている。 ・町内自治会単位でも防災訓練を実施した。			
		○	5 すべての子どもを地域で育 てる	【重点取組項目】 セーフティウォッチャー活動や学区点検活動、各 種イベントの実施などを通して、子どもたちが地域 で安全かつ健やかに過ごせるような環境づくりに努 めたい。	・地区部会ボランティア及び青少年育成委員会等が、子どもたちの安全を守るため、毎日 の登下校時にセーフティウォッチャー活動を実施した。 ・青少年育成委員会が、長期休暇前の学区点検(危険箇所など確認)を実施した。 ・育成委員会と地区部会が共催している書き初め練習会・書き初め展示会を実施し、子ど もたちとの交流を図った。 ・育成委員会と公民館共催の「ブチ夏祭り」において、スイカ割りや「怖い話」の朗読を実施 した。 ・「お泊りイン星久喜」は中止になったが、代替事業として、凧作りと凧あげ大会を開催し た。 ・地域運営委員会が星久喜中学校で「星フェス」を開催し、地区部会も輪投げコーナーを持 ち、地域の子どもたちと交流した。 ・スポーツ振興会主催のふれあい大運動会を開催した。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
			6 ふれあい・いきいきサロンの 充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施を通して、地域の高齢者の 閉じこもり防止や仲間づくり、社会参加を図る機会 を設け、フレイルの予防に努めたい。	・地区部会が70歳以上の高齢者を対象に、青葉の森公園・都市緑化植物園の散策・クリ スマスお楽しみ会などのいきいきサロンを年7回(うち1回は落語)実施し、高齢者の仲間づ くりや健康維持に取り組んだ。 ・地域運営委員会(地区部会も協力)で脳トレサロンを前期9回、後期9回開催し、高齢者 の認知症やフレイルの予防に取り組んだ。 ・75歳以上の高齢者を対象に、敬老祝賀の会を開催した。			
			7 地域での健康づくり支援の 充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。 また、星フェスにおいて輪投げゲームを行い、小さ なお子さんから高齢者まで様々な世代での健康づ くりを推進する。	・スポーツ振興会が中心となって、グラウンドゴルフ大会などを開催した。 ・スポーツ振興会が実施している「ふれあい大運動会」では、高齢者が参加する競技を取り 入れた。 ・いきいきサロンでも、青葉の森公園や都市緑化植物園での散策が行われた。 ・青葉の森ラジオ体操会が、青葉の森公園中央広場で、毎朝、ラジオ体操を行った。 ・一部の町内自治会が、あんしんケアセンター松ヶ丘と連携し、介護予防や健康づくりの取 り組みを行った。 ・脳トレサロンにおいて、笑いヨガ・体操の時間を設けた。 ・民児協とスポーツ振興会でポッチャ教室を開催した。			
			8 地域でのスポーツ活動及び 文化活動の推進	予定：育成委員会と地区部会とで書初め練習会と 展示会をそれぞれ開催する。	・育成委員会と地区部会が、令和6年末に書初めの練習会・令和7年の年明けに書初め展 示会をそれぞれ開催した。 ・育成委員会と公民館が共催し、凧作り、凧あげ大会を開催した。			
		○	9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 子育てサロンの実施を通して、地域の子育て中 の親子の孤立化を防止し、仲間づくりの場を設ける よう努めたい。	地区部会が、子育て中の親子を対象に、年10回都市緑化植物園のお散歩、読み聞か せ、歯科衛生士のお話、栄養士のお話、クリスマスお楽しみ会、七夕等を内容とした子育 てサロン「トントんルーム」を実施し、仲間づくりに取り組んだ。		◎	【重点取組項目】 今年度同様
	2 交流の場と仲 間づくり	○				◎	【重点取組項目】 今年度同様	
		○				◎	【重点取組項目】 今年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票 星久喜地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
星久喜地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	【重点取組項目】 地域において障がい者が活動できる機会を設け、障がい者と地域住民が相互理解できるよう努めたい。 公民館文化祭において、作業所作品販売が行われるようであれば、協力を行う予定である。 また、障害者福祉委員会で新たな交流事業を検討する。	・公民館文化祭は開催されたが、作業所作品販売がなく、障がい者福祉委員会によるお手伝いは中止となったため、代替の活動について検討中。	△	【重点取組項目】 今年度同様	
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	【重点取組項目】 日帰りバス旅行や、地域運営委員会主催の「星フェス」の実施などを通して、地域住民が世代の枠を超えて交流できる機会を創出したい。	・「バス日帰り旅行」を計画中。 ・地域運営委員会が星久喜中学校で「星フェス」を開催し、地区部会も輪投げコーナーを持ち、世代間交流を行った。 ・育成委員会が地域小中学生と高齢者施設での交流事業を行った。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・毎朝、星久喜小学校通学路においてセーフティウォッチャー活動を実施した。 ・地区部会として、自治会での防犯パトロールなどへ協力した。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会があんしんケアセンターと協力し、在宅医療と介護に関する講座を開催し、介護と障害者福祉への理解を進めた。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり	○	14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	【重点取組項目】 福祉講座の開催を通して、地域住民が地域福祉活動に参加するきっかけづくりの場を設けるよう努めたい。	・地区部会があんしんケアセンターと協力し、在宅医療と介護に関する講座を開催し、介護と障害者福祉への理解を進めたほか、各種講座開催について検討を進めた。	◎	【重点取組項目】 今年度同様	
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員や地区部会事業のボランティアが個別の相談対応に当たり、地区部会役員はパイプ役を担った。 ・認知機能の低下を防ぐ効果が期待できることから、脳トレを月2回2会場で開催した。併せて、参加者の相談に対応するため、あんしんケアセンターと連携した。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・広報紙「ふくし」を年2回発行した。 ・地区部会が作成した緊急ノートを独居と75歳以上高齢者を対象に配布しており、対象世帯と民生委員がそれぞれ保管している。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	目標： 福祉講座の開催を通して、地域住民が地域福祉活動に参加するきっかけづくりの場を設けるよう努めたい。	・地区部会があんしんケアセンターと協力し、在宅医療と介護に関する講座を開催し、介護と障害者福祉への理解を進めたほか、各種講座開催について検討を進めた。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・育成委員会の声掛け協力により「こども110番のいえ」を実施している(約100軒)。 ・一部の町内自治会では、防犯パトロールを実施した。			
			19 防災体制の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)			